

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科		国語	科目	論理国語
教 科：	国語	科 目：	論理国語	単位数： 3 単位
対象学年組：第 1 学年 A 組～ H 組				
使用教科書：（ ）				
教科	国語	の目標：		
【知識及び技能】		実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。		
【思考力、判断力、表現力等】		論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。		
【学びに向かう力、人間性等】		言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		
科目	論理国語	の目標：		

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉を効果的に使おうとしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉を効果的に使おうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・ 聞	書	読					
1 学 期	単元 評論（九） 【知識及び技能】 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 本文を粘り強く読み、学習課題に沿って本文の構成を捉えようとしている。	・教材 リスク社会とは何か ・指導事項 評論文の読み方／比較文化論／段落構成と論理構造 ・一人1台端末の活用 等 意味調べ			○	○	○	○		17
	定期考査						○	○		1
	単元 評論（十） 【知識及び技能】 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にしている。 【学びに向かう力、人間性等】 本文を粘り強く読み、個別の事例と筆者の主張との関係を理解しようとしている。	・教材 目に見える制度と見えない制度 ・指導事項 評論文の読み方／比較文化論／段落構成と論理構造 ・一人1台端末の活用 等 意味調べ			○	○	○	○		21
	定期考査						○	○		1
2 学 期	単元 読み比べ 【知識及び技能】 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 【学びに向かう力、人間性等】 本文を粘り強く読み、学習課題に沿って本文の構成を捉えようとしている。	・教材 ローカル鉄道の改革と地域振興 重装備農業からの脱却 ・指導事項 評論文の読み方／比較文化論／段落構成と論理構造 ・一人1台端末の活用 等 意味調べ			○	○	○	○		25
	定期考査						○	○		1
	単元 評論（十一） 【知識及び技能】 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】	・教材 現代日本の開花 ・指導事項 評論文の読み方／比較文化論／段落構成と論理構造 ・一人1台端末の活用 等				・筆者の主張を捉え、考えを深めている。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 ・関連する文章を比較して読み、書き手の立場や目的を考えながら内容を解釈している。				

	多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にしている。 【学びに向かう力、人間性等】 本文を粘り強く読み、個別の事例と筆者の主張との関係を理解しようとしている。	意味調べ		○	○	・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の構成や展開を理解し、深めている。 ・情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理している。 ・明治四十四年の講演の記録に基づく文章を粘り強く読み、本文の構成を捉えている。 ・粘り強く学習課題に取り組み、本文の内容について理解を深めようとしている。 ・本文を粘り強く読み、聴衆が講演を理解しやすいように筆者が施した工夫について理解を深めようとしている。	○	○	○	30
	定期考査						○	○		1
3 学 期	大学入試問題演習	大学入試頻出問題を演習形式で学習する。				取り組み状況による。	○	○	○	8
										合計
										105

高等学校 令和6年度（3学年用）		教科	国語	科目	文学国語
教科：	国語	科目：	文学国語	単位数：	3 単位
対象学年組：	第 3 学年 A 組～ H 組				
使用教科書：	（ ）				

教科	国語	の目標：
【知識及び技能】	我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	
【思考力、判断力、表現力等】	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	
【学びに向かう力、人間性等】	我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	

科目	文学国語	の目標：
【知識及び技能】		生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。
【思考力、判断力、表現力等】		「書くこと」、「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
【学びに向かう力、人間性等】		言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・ 聞	書	読					
1 学 期	単元 現代の小説（一） 【知識及び技能】 語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、展開、描写などを的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 心情の変化を捉えている。	・教材 デューク ・指導事項 段落構成と論理構造 ・一人1台端末の活用 等 意味調べ		○	○	・「私」の行動を整理し、「少年」との交流を通して「私」の心情がどう変化しているかを粘り強く捉えようとしている。 ・主人公の悲しみが表現されている部分を注意深く読み取り、自分なりの悲しみの表現を積極的に考え、発表しようとしている。	○	○	○	8
	単元 近代の小説（二） 【知識及び技能】 文学的な文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 解釈の多様性を考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 心情も変化を捉えている。	・教材 山月記 ・指導事項 段落構成と構造 ・一人1台端末の活用 等 意味調べ		○	○	・表現の特徴が作品に及ぼす効果を考え、人が虎になるという怪異の意味を踏まえて作品の主題を考えている。 ・教材全体の構成を段落関係から読み取り、学習課題に沿って表現の特色や登場人物の役割などを説明しようとしている。 ・登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとしている。 ・典拠となった文章と粘り強く読み比べ、主題の違いや作者の工夫をまとめようとしている。	○	○	○	9
	定期考査						○	○		1
	単元 近代の小説（一） 【知識及び技能】 文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 登場人物の心情とその変化について理解を深めようとしている。	・教材 こころ ・指導事項 段落構成と構造 ・一人1台端末の活用 等 意味調べ		○	○	・物語の展開と出来事を整理し、「私」と「K」との心情をつかみこんでいる。 ・内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養っている。 ・文学的な文章の種類や特徴について理解を深めている。 ・場面ごとの展開を粘り強く読み取り、登場人物の心情とその変化について理解を深めようとしている。 ・指定された場面を、本文とは異なる視点から書き換える活動に積極的に取り組み、解釈を深めようとしている。	○	○	○	21
	定期考査						○	○		1
2 学 期	単元 随想 【知識及び技能】 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 文章を粘り強く読み、学習課題に沿って、それぞれの文体・表現の特徴を理解しようとしている。	・教材 真珠耳飾りの少女 ・指導事項 段落構成と構造 ・一人1台端末の活用 等 意味調べ		○	○	・フェルメールの絵画について述べられた対談の文章と比較して、文体の特徴や効果について考察する方法を学んでいる。 ・文学的な文章の種類や特徴について理解を深めている。 ・文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解している。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・二つの文章を粘り強く読み、学習課題に沿って、それぞれの文体・表現の特徴を理解しようとしている。 ・フェルメールやその作品に対する向き合い方について、二つの文章の筆者間の違いを積極的に説明しようとしている。 ・作品に関連した三人の人物について積極的に調べ、文章にまとめようとしている。	○	○	○	25
	定期考査						○	○		1
	単元 現代の小説（四） 【知識及び技能】 文学的な文章やそれに関する文章の種類	・教材 卒業 ・指導事項				・文学的な文章の種類や特徴について理解を深めている。 ・文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を				

	や特徴などについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にしている。 【学びに向かう力、人間性等】 寿々の仕事に向き合う態度や友人への思いの変化を粘り強く読み取り、「卒業」という題名の意味について、自分の考えをまとめようとしている。	段落構成と構造 ・一人1台端末の活用 等 意味調べ			○	○	理解している。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。 ・読書の意義と効用を理解している。 ・寿々の仕事に向き合う態度や友人への思いの変化を粘り強く読み取り、「卒業」という題名の意味について、自分の考えをまとめようとしている。 ・寿々をめぐる人間関係について、共感できる表現を積極的に探し、その理由をわかりやすく発表しようとしている。	○	○	○	30
	定期考査							○	○		1
3 学 期	大学入試問題演習	大学入試頻出問題を演習形式で学習する。					取り組み状況による。				8
											合計
											105

高等学校 令和6年度（3学年用）			教科	国語	科目	国語表現
教科：	国語	科目：	国語表現	単位数：	3	単位
対象学年組：	第 1 学年	組～	組			
使用教科書：	（ ）					

教科	国語	の目標：
【知識及び技能】	小論文の特徴、構成や展開のしかたなどについて理解を深めている。	
【思考力、判断力、表現力等】	適切な根拠を効果的に用いて論理の展開を考えるなど、文章の構成や展開を工夫している。	
【学びに向かう力、人間性等】	小論文と感想文の違いをふまえ、小論文を書くことに関心をもち、意欲的に取り組もうとしている。	

科目	国語表現	の目標：
【知識及び技能】		小論文の特徴、構成や展開のしかたなどについて理解を深めている。
【思考力、判断力、表現力等】		適切な根拠を効果的に用いて論理の展開を考えるなど、文章の構成や展開を工夫している。
【学びに向かう力、人間性等】		小論文と感想文の違いをふまえ、小論文を書くことに関心をもち、意欲的に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・ 聞	書	読					
1 学 期	単元 言葉と出会うレッスン1 【知識及び技能】 言葉や表記の大切さを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 表現のしかたを工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 正しい表記や語彙を豊かにしている。	・教材 言葉と表記 ・指導事項 言葉、表記 ・一人1台端末の活用 等 意味調べ	○	○	○	・話し言葉や非言語的表現の特徴と役割について理解を深め、目的や場面に応じた適切な表現を理解している。 ・相手の反応に応じて言葉を選び、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。 ・視点を明確にして聞きながら、共感を伝えたり相手の思いや考えを引き出したりしている。 ・伝え合うことの楽しさを知り、積極的にコミュニケーションに取り組もうとしている。	○	○	○	8
	単元 言葉と出会うレッスン2 【知識及び技能】 書き言葉の特徴について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 表現のしかたを工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 文を整えて書く学習に対して積極的に取り組もうとしている。	・教材 整った文を書く ・指導事項 文章 ・一人1台端末の活用 等 意味調べ		○		・書き言葉の特徴について理解を深めたり、理解しようとしている。 ・「書くこと」において、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするために、係り受けや文末表現の統一を正確に理解して、表現のしかたを工夫している。 ・練習問題を解くことをとおして、文を整えて書く学習に対して積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	単元 言葉と出会うレッスン4 【知識及び技能】 適切でわかりやすい文を書く方法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 表現を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 わかりやすい文にする学習に積極的に取り組もうとしている。	・教材 わかりやすい文を書く ・指導事項 文章 ・一人1台端末の活用 等 意味調べ		○		・書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や手段に応じた適切でわかりやすい文を書く方法を理解している。 ・長すぎる文やあいまいな文を避け、読点を適切に用いるなど、工夫している。 ・自分が書いた文や文章が、読み手にわかりやすく伝わるかどうかを吟味し、表現全体を整えたり、読点の打ち方を工夫したりしている。	○	○	○	11
	単元 言葉と出会うレッスン5 【知識及び技能】 接続表現の種類や働きを知り、文章の中で適切に用いている。 【思考力、判断力、表現力等】 文章全体を整えている。 【学びに向かう力、人間性等】 文と文のつなぎ方に着目した学習に対して積極的に取り組もうとしている。	教材 整った文を書く ・指導事項 文章 ・一人1台端末の活用 等 意味調べ		○		・自分の思いや考えを多彩に表現するために、接続表現の種類や働きを知り、文章の中で適切に用いている。 ・「書くこと」において、読み手に対して自分の思いや考えが効果的に伝わるように、接続表現の使い方を吟味し、文章全体を整えている。 ・「接続表現クイズ」を解くことをとおして、文と文のつなぎ方に着目した学習に対して積極的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
2 学 期	単元 自己PRと面接レッスン1 【知識及び技能】 言葉の働きを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 自分に関わる事柄を整理して、伝え合う内容を検討している。 【学びに向かう力、人間性等】 自分のこれまでの人生を振り返ってまとめている。	・教材 自分を見つめて ・指導事項 自己PR ・一人1台端末の活用 等 意味調べ	○	○	○	・言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解している。 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者と話し合いながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 ・自分のこれまでの人生を振り返ってまとめる活動に興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	○	○	○	12
	単元 自己PRと面接レッスン2 【知識及び技能】 自分に関わる事柄を整理して、伝え合う内容を検討している。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の思いや考えの構成や展開を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に取り組もうとしている。	・教材 効果的な自己PR ・指導事項 自己PR ・一人1台端末の活用 等 意味調べ		○		・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者と話し合いながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の思いや考えが伝わるよう、具体例を効果的に配置するなど、話の構成や展開を工夫している。 ・効果的な自己PRをすることに興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	○	○	○	13
	単元 自己PRと面接レッスン4 【知識及び技能】 伝えたいことを明確にしている。 【思考力、判断力、表現力等】 表現のしかたを工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に学習に取り組もうとしている。	・教材 志望理由書を書こう ・指導事項 志望理由書 ・一人1台端末の活用 等 意味調べ		○		・「書くこと」において、目的や意図に応じて、志望先と自分に関わる事柄の中から適切な題材を集め、情報の組み合わせなどを工夫して、伝えたいことを明確にしている。 ・「書くこと」において、自分の考えを明確にし、根拠となる情報をもとに的確に説明するなど、表現のしかたを工夫している。 ・情報を調べて集め、説得力のある志望理由を書くことに興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	○	○	○	15

3 学 期	単元 自己PRと面接レッスン5 【知識及び技能】 適切な表現や言葉遣いを理解して使っている。 【思考力、判断力、表現力等】 相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 自己評価や相互評価に取り組もうとしている。	教材 面接にチャレンジ ・指導事項 面接 ・一人1台端末の活用 等 意味調べ	○	・話し言葉の特徴や役割、表現の特色の理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し使っている。 ・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応に応じて言葉を選び、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。 ・面接の場で自分のことを伝えたり、それらを聞いて批評したりしている。 ・面接の留意点や言葉遣いに興味をもち、自己評価や相互評価に取り組もうとしている。	○	○	○	15
	単元 表現を楽しむ11 【知識及び技能】 話の構成や説明資料を工夫している。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えを広げたり深めたりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に取り組もうとしている。	教材 演説合戦にチャレンジ ・指導事項 演説 ・一人1台端末の活用 等 意味調べ		・適切な情報や根拠を効果的に用いて、話の構成や説明資料を工夫している。 ・自分の考えと比較しながら聞き、聞き取った情報を吟味して自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・話し合いの目的に応じて議論や討論を行い、話し合いのしかたや結論の出し方について批評している。 ・演説合戦の活動に意欲的に取り組もうとしている。				13
								合計
								105

高等学校

令和6年度（3学年用）

教科

地理歴史

科目

日本史探究

教科

地理歴史

科目

日本史探究

単位数

3

単位

対象学年組

第3学年

A B E F G H 組

使用教科書

教科

地理歴史

の目標

【知識及び技能】

地理・歴史の概要を理解し、情報を整理し適切に調べる力を身に着ける。

【思考力、判断力、表現力等】

学習した地理・歴史的事象を多面的・多角的に考察し、自己の意見を踏まえて表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

学習した地理・歴史的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に取り組む態度を養う。

科目

日本史探究

の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近世から近代はじめまでの日本史の概要を理解し、情報を整理し適切に調べる力を身に着ける。	学習した日本の歴史的事象を多面的・多角的に考察し、自己の意見を踏まえて表現する力を養う。	学習した日本の歴史的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	江戸時代前期の歴史的環境と文化の形成とを関連付けて理解し、多面的・多角的に考察する。	・幕藩体制の成立(江戸幕府の成立、幕藩体制、幕府と藩の機構) ・幕藩社会の構造(身分と社会、村と百姓、町と町人) ・幕政の安定(平和と秩序の確立、元禄時代、称徳の政治) ・経済の発展(農業生産の進展、諸産業の発展、交通の整備と発達) ・元禄文化(元禄期の文学、儒学の興隆、諸学問の発達)	【知識・技能】 江戸時代前期の歴史的流れを総合的に理解し効果的に調べる技能が身についている。 【思考・判断・表現】 上記の歴史的事象を多面的・多角的に考察し説明・表現する力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の歴史的事象をよりよい社会の実現のために主体的に追求しようとする態度を持っている。	○	○	○	17
	中間考査			○	○		1
	江戸時代後期の歴史的環境と文化の発展とを関連付けて理解し、多面的・多角的に考察する。	・幕政の改革(享保の改革、社会の変容、一揆と打ちこわし) ・宝暦・天明期の文化(洋学のはじまり、国学の発達と尊王論、生活から生まれた思想) ・幕府の衰退と近代への道(寛政の改革、鎖国の動揺、文化・文政時代) ・化政文化(学問・思想の動き、教育、文学、美術・民衆文化の成熟) ・	【知識・技能】 江戸時代後期のの歴史的流れを総合的に理解し効果的に調べる技能が身についている。 【思考・判断・表現】 上記の歴史的事象を多面的・多角的に考察し説明・表現する力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の歴史的事象をよりよい社会の実現のために主体的に追求しようとする態度を持っている。	○	○	○	17
	期末考査			○	○		1
2 学期	開国から立憲政治の成立までの歴史的環境と文化の形成とを関連付けて理解し、多面的・多角的に考察する。	・開国と幕末の動乱(内憂外患への対応、ペリーの来航と対外方針の模索、開港とその影響) ・幕府の滅亡と新政府の発足(幕府の滅亡、戊辰戦争と新政府の発足、幕末社会の動揺と変革) ・明治維新と富国強兵(廃藩置県、四民平等、地租改正、殖産興業) ・立憲国家の成立(自由民権運動、自由民権運動の再編、憲法の制定)	【知識・技能】 開国から立憲政治の成立までの歴史的流れを総合的に理解し効果的に調べる技能が身についている。 【思考・判断・表現】 上記の歴史的事象を多面的・多角的に考察し説明・表現する力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の歴史的事象をよりよい社会の実現のために主体的に追求しようとする態度を持っている。	○	○	○	17
	中間考査			○	○		1
	日清・日露戦争と国際関係、第一次世界大戦と日本、ワシントン体制について歴史的環境と文化の形成とを関連付けて理解し、多面的・多角的に考察する。	・日清・日露戦争と国際関係(条約改正、朝鮮問題、日清戦争と三国干渉、日露戦争) ・第一次大戦と日本(大正政変、第一次世界大戦、日本の中国進出、) ・ワシントン体制(パリ講和会議、ワシントン会議と協調外交、社会運動の勃興)	【知識・技能】 日清・日露戦争と国際関係、第一次世界大戦と日本、ワシントン体制までの歴史的流れを総合的に理解し効果的に調べる技能が身についている。 【思考・判断・表現】 上記の歴史的事象を多面的・多角的に考察し説明・表現する力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の歴史的事象をよりよい社会の実現のために主体的に追求しようとする態度を持っている。	○	○	○	10
	近代産業の発展、近代文化の発達、市民生活の変容と大衆文化について歴史的環境と文化の形成とを関連付けて理解し、多面的・多角的に考察する。	・近代産業の発展(通貨と銀行、産業革命、紡績と製糸、鉄道と開運) ・近代文化の発達(明治の文化と宗教、教育の普及、科学の発達、近代文学) ・市民生活の変容と大衆文化(大戦景気、都市化の進展と市民生活、大衆文化の誕生、学問と芸術)	【知識・技能】 近代産業の発展、近代文化の発達、市民生活の変容と大衆文化について歴史的流れを総合的に理解し効果的に調べる技能が身についている。 【思考・判断・表現】 上記の歴史的事象を多面的・多角的に考察し説明・表現する力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の歴史的事象をよりよい社会の実現のために主体的に追求しようとする態度を持っている。	○	○	○	10
	期末考査			○	○		1

	初年度						1
3 学期	恐慌と第二次世界大戦について歴史的環境と文化の形成とを関連付けて理解し、多面的・多角的に考察する。	・恐慌の時代(戦後恐慌から金融恐慌へ、社会主義運動の高まりと積極外交への転換、金解禁と世界恐慌)・軍部の台頭(満州事変、国際連盟からの脱退、恐慌からの脱出、転向の時代、二・二六事件)・第二次世界大戦(三国防共協定、日中戦争、第二次世界大戦の勃発、太平洋戦争のはじまり、戦局の展開、敗戦)	【知識・技能】 恐慌と第二次世界大戦について歴史的流れを総合的に理解し効果的に調べる技能が身についている。 【思考・判断・表現】 上記の歴史的事象を多面的・多角的に考察し説明・表現する力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の歴史的事象をよりよい社会の実現のために主体的に追求しようとする態度を持っている。	○	○	○	29
	学年末考査			○	○		1
							合計 105

高等学校

令和6年度（3学年用）

教科

地理歴史

科目

日本史演習

教科

地理歴史

科目

日本史演習

単位数

2

単位

対象学年組

第3学年

B G H組

（自由選択科目）

使用教科書

（

）

教科

地理歴史

の目標

【知識及び技能】

地理・歴史の概要を理解し、情報を整理し適切に調べる力を身に着ける。

【思考力、判断力、表現力等】

学習した地理・歴史的事象を多面的・多角的に考察し、自己の意見を踏まえて表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

学習した地理・歴史的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に取り組む態度を養う。

科目

日本史演習

の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近代現代の日本史の概要を理解し、問題演習を通じて実践的な日本史学習力を身に着ける。	学習した日本の歴史的事象を多面的・多角的に考察し、自己の意見を踏まえて表現する力を養う。	学習した日本の歴史的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	近世から近代へ歴史的推移を理解し、幕府滅亡・新政府の成立過程を理解する。	・開国と幕末の動乱 ・幕府の滅亡と新政府の発足 ・明治維新と富国強兵 ・立憲国家の成立	【知識・技能】 幕末から新政府の発足、立憲国家成立の歴史的流れを総合的に理解し効果的に調べる技能が身についている。 【思考・判断・表現】 上記の歴史的事象を多面的・多角的に考察し説明・表現する力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の歴史的事象をよりよい社会の実現のために主体的に追求しようとする態度を持っている。	○	○	○	11
	授業内テスト			○	○		1
	日清日露戦争期から大正時代、欣治産業の発展の歴史的過程を理解する。	・日清・日露戦争と国際関係 ・第一次世界大戦と日本 ・ワシントン体制 ・近代産業の発展 ・近代文化の発達 ・市民生活の変容と大衆文化	【知識・技能】 日清日露戦争期から大正時代の歴史的流れを総合的に理解し効果的に調べる技能が身についている。 【思考・判断・表現】 上記の歴史的事象を多面的・多角的に考察し説明・表現する力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の歴史的事象をよりよい社会の実現のために主体的に追求しようとする態度を持っている。	○	○	○	11
	授業内テスト			○	○		1
2 学期	恐慌の時代、軍部の台頭から第二次世界大戦までの歴史的環境と文化の形成とを関連付けて理解し、多面的・多角的に考察する。	・恐慌の時代 ・軍部の台頭 ・第二次世界大戦	【知識・技能】 恐慌の時代の始まりから第二次世界大戦までの歴史的流れを総合的に理解し効果的に調べる技能が身についている。 【思考・判断・表現】 上記の歴史的事象を多面的・多角的に考察し説明・表現する力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の歴史的事象をよりよい社会の実現のために主体的に追求しようとする態度を持っている。	○	○	○	12
	授業内テスト			○	○		1
	占領下の日本から戦後政治の展開、高度経済成長期について歴史的環境と文化の形成とを関連付けて理解し、多面的・多角的に考察する。	・占領と改革 ・冷戦の開始と講和 ・55年体制 ・経済復興から高度経済成長へ	【知識・技能】 占領期から高度経済成長期までの歴史的流れを総合的に理解し効果的に調べる技能が身についている。 【思考・判断・表現】 上記の歴史的事象を多面的・多角的に考察し説明・表現する力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の歴史的事象をよりよい社会の実現のために主体的に追求しようとする態度を持っている。	○	○	○	12
3 学期	授業内テスト			○	○		1
	経済大国としての日本、激動する世界と日本社会の変容について歴史的環境と文化の形成とを関連付けて理解し、多面的・多角的に考察する。	・経済大国への道 ・冷戦終結と日本社会の変容	【知識・技能】 1970年代から平成・令和期の歴史的流れを総合的に理解し効果的に調べる技能が身についている。 【思考・判断・表現】 上記の歴史的事象を多面的・多角的に考察し説明・表現する力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の歴史的事象をよりよい社会の実現のために主体的に追求しようとする態度を持っている。	○	○	○	20
	授業内テスト			○	○		
							合計 70

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 地理歴史 科目 世界史演習

教 科： 地理歴史 科 目： 世界史演習 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 ABCD 組

使用教科書： （ ）

教科 地理歴史 の目標：

【知 識 及 び 技 能】 地理・歴史の概要を理解し、情報を整理し適切に調べる力を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 学習した地理・歴史的事象を多面的・多角的に考察し、自己の意見を踏まえて表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 学習した地理・歴史的事象について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に取り組む態度を養う。

科目 世界史演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	アラブの大征服とイスラーム政権の成立	①アラブ＝ムスリム軍による大征服の展開を理解する。 ②ウマイヤ朝の領域的な広がりとその支配の特徴を理解する。 ③アッバース朝成立の背景とその統治の特徴を理解する。 ④イスラーム文化の成立の経緯を理解し、またその特徴を多面的・多角的に考察し表現する。 ⑤イスラーム政権の多極化が社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。	【知識・技能】 イスラーム教がどのように成立し、短期間で勢力を拡大していったのかを理解している。 【思考・判断・表現】 イスラーム政権の拡大を示す地図やアラベスクなどの図像資料などをもとに、イスラーム教の成立が西アジアや北アフリカの社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 イスラーム教の成立と拡大について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見いだして、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	イスラーム教の諸地域への伝播	①イスラーム化が中央アジアにもたらした変化について理解している。 ②南アジアにおいてイスラーム教が受け入れられていった経緯を理解している。 ③東南アジアにおいてイスラーム化が進んだ背景について考察し表現している。 ④アフリカにおいてイスラーム化が進んだ要因を考察し表現している。	【知識・技能】 中央アジア・南アジア・東南アジア・アフリカの各地でどのようにイスラーム化が進んだのかを理解している。 【思考・判断・表現】 『トルコ語・アラビア語辞典』序文などの資料をもとに、イスラーム教の伝播・拡大においてトルコ人の果たした役割を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 イスラーム教の各地への伝播について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	西アジアの動向	①トルコ人の進出が西アジアにもたらした変化について考察し表現している。 ②十字軍やモンゴルの進出が西アジアにもたらした影響について考察し表現している。 ③マムルーク朝のもとでのカイロの繁栄がどのように実現したのか理解している。 ④イベリア半島におけるイスラーム勢力の興亡について理解している。	【知識・技能】 アッバース朝衰退後の西アジアにおいて、政治的統一は失われたが、経済・文化の交流を通じてイスラーム教徒（ムスリム）の連帯が維持されたことを理解している。 【思考・判断・表現】 トルコ人の進出・十字軍遠征・モンゴル勢力の襲来といった外圧が、西アジアの社会へおよぼした影響を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 変動する西アジアの情勢について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	オスマン帝国とサファヴィー朝	①オスマン帝国の基礎が築かれた経緯を理解する。 ②オスマン帝国の勢力拡大の経緯を理解する。 ③オスマン帝国の統治が当時の人々に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ④サファヴィー朝の支配がイラン社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。	【知識・技能】 オスマン帝国とサファヴィー朝がどのように支配を確立し、統治をおこなっていたのかを理解している。 【思考・判断・表現】 オスマン帝国とサファヴィー朝を比較したうえで、それぞれの特徴や両者の関係を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 オスマン帝国とサファヴィー朝について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見いだして、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	ムガル帝国の興隆	①ムガル帝国の基礎が築かれた経緯を理解する。 ②ムガル帝国におけるヒンドゥー教徒とイスラーム教徒の関係を多面的・多角的に考察し表現する。 ③ムガル帝国の衰退の背景や要因を多	【知識・技能】 ムガル帝国において非イスラーム教徒に対する施策がどのように変化したのかを理解している。 【思考・判断・表現】 ムガル帝国時代の細密画などの図像資料や領域を示す地図などをもとに、ムガル帝国の興隆と衰退が南				

		面的・多角的に考察し表現する。	アジアに与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ムガル帝国について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	4
授業内テスト				○	○		1
アジア諸地域の自立化と宋	①10世紀前半に東アジアで政権の交替があいついだ背景や、そこで成立した諸国の共通点を理解する。 ②宋の対外関係の特徴を多面的・多角的に考察し表現する。 ③宋における社会や経済の発展の様子を理解する。 ④宋代の文化の特徴を多面的・多角的に考察し表現する。	【知識・技能】 10～12世紀の東アジアの情勢について、東アジア内の交流と再編を中心に理解している。 【思考・判断・表現】 「清明上河図」などの図像資料や荘綽『鶏肋編』などの資料をもとに、宋代の経済発展が社会に引き起こした変化を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 10～12世紀の東アジアについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	6	
モンゴルの大帝国	①モンゴル帝国が成立した背景を多面的・多角的に考察し表現する。 ②モンゴル帝国による支配が東アジアにおよぼした影響について理解する。 ③モンゴル帝国時代の東西交流の新しいさを多面的・多角的に考察し表現する。 ④モンゴル帝国解体の要因を理解する。 ⑤ティムール朝がモンゴル帝国から受け継いだものを多面的・多角的に考察し表現する。	【知識・技能】 モンゴル帝国がどのように成立し、解体したのか、そして帝国の支配は社会にどのような影響を与えたのかを理解している。 【思考・判断・表現】 モンゴル帝国の最大領域を示す地図や「混一疆理歴代国都之図」などの図像資料をもとに、モンゴル帝国の成立世界史的な意義を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 モンゴル帝国について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	6	
アジア交易世界の興隆	①モンゴル帝国解体後のアジア各地の状況について理解する。 ②明朝初期の国内統治の特徴を多面的・多角的に考察し表現する。 ③明との朝貢関係が諸地域にもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ④世界的な商業の発展が明の朝貢体制におよぼした影響を理解する。 ⑤明代後期の中国の社会・経済・文化と世界の商業の活発化との関係を多面的・多角的に考察し表現する。 ⑥16世紀の東南アジアで台頭した新興勢力の共通点を理解する。	【知識・技能】 「世界の一体化」が始まった時期のアジアにおいて、どのような動きがあったのかを理解している。 【思考・判断・表現】 「南蛮屏風」などの図像資料や鄭曉『今言』などの資料をもとに、この時期のアジア内およびアジアと世界の交流を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 アジア交易世界について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	6	
授業内テスト				○	○		1

清代の中国と隣接諸地域	①清朝の領土に組み込まれた民族と、彼らがどのように統治されていたかを理解する。 ②清代における周辺諸国と中国との関係について、明代と比較したうえで多面的・多角的に考察し表現する。 ③漢人の社会や文化に対して清朝がどのような態度をとったのかを理解する。	【知識・技能】 清朝の基礎が築かれた経緯や清代の政治と社会の特徴および周辺諸国との関係について理解している。 【思考・判断・表現】 皇帝を描いた図像資料や『康熙帝伝』などの資料をもとに、清代の皇帝と従来の中国王朝の皇帝との違いを多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 清代の中国と隣接諸地域について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	6
東アジアの激動	①清朝の危機の要因を多面的・多角的に考察し表現する。 ②中国の開港の背景および開港の進展の経緯を理解する。 ③清朝による国内秩序の再建の試みについて、その成果と課題を理解する。 ④東アジア各地の開港および貿易の拡大がもたらした影響を理解する。 ⑤欧米諸国の進出と日本の台頭が東アジア諸国間の関係に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。	【知識・技能】 欧米諸国の進出の経緯と東アジア諸国の改革の試みの成果や課題を理解している。 【思考・判断・表現】 文字資料「マカートニーの1794年1月の日記」やアヘン戦争を描いた図像資料、東アジアの開港場を示した地図などをもとに、この時期の東アジア国際秩序の変容について多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 東アジアの激動について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	6
授業内テスト			○	○		1
アメリカ合衆国の独立と発展	①北米大陸に建設されたヨーロッパ諸国の植民地の地理的分布とその推移を理解する。 ②独立直後と今日のアメリカ合衆国を比較し、共通点と相違点を理解する。 ③アメリカ合衆国の独立がヨーロッパ	【知識・技能】 アメリカ合衆国がどのような歴史的経緯をたどって独立したのかを理解している。 【思考・判断・表現】 アメリカ独立宣言や「権利の章典」（第11章4節）などの資料をもとに、アメリカ合衆国独立の独自性				

2 学期		諸国に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。	を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 アメリカ合衆国の独立について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	アメリカ合衆国の発展	①領土拡大がアメリカ社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ②南北戦争において北部が勝利した要因を理解する。 ③アメリカ合衆国の歴史において移民が持つ意味を多面的・多角的に考察し表現する。	【知識・技能】 南北戦争につながったアメリカ合衆国内の対立構造やその後の展開を理解している。 【思考・判断・表現】 アメリカ合衆国の領土拡大を示す地図や大陸横断鉄道開通の写真などの図像資料をもとに、アメリカ合衆国の急速な発展の要因を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 アメリカ合衆国の発展について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	5
	中南米諸国の独立	①ハイチ革命の特殊性について、環大西洋革命の他の事例と比較したうえで理解する。 ②中南米諸国の独立運動に共通する点を理解する。 ③中南米諸国の独立運動とヨーロッパ情勢との関係を多面的・多角的に考察し表現する。	【知識・技能】 中南米諸国の独立がどのような経緯をたどって実現したのかを理解している。 【思考・判断・表現】 中南米諸国の独立年を示す地図などをもとに、ヨーロッパ情勢をふまえたうえで、短期間に多くの独立が達成された要因を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 中南米諸国の独立について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	3
	授業内テスト			○	○		1
3 学期	地球世界の課題の探究	①「紛争解決や共生」「経済格差の是正や経済発展」「科学技術の発展や文化の変容」といったテーマにおける課題の追究や解決のために、適切かつ効果的に諸資料を活用し、歴史的経緯をふまえて、地球世界の課題を理解している。 ②地球世界の課題の形成に関わる諸事象の歴史的背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、地球世界の課題の形成に関わる世界の歴史について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。	【知識・技能】 設定した課題の追究や解決のために、適切かつ効果的に諸資料を活用し、歴史的経緯をふまえて、地球世界の課題を理解している。 【思考・判断・表現】 地球世界の課題の形成に関わる諸事象の歴史的背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、地球世界の課題の形成に関わる世界の歴史について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 地球世界の課題について、よりよい社会の実現を視野に、主体的に探究しようとしている。	○	○	○	2
							合計
							70

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 地理歴史 科目 発展世界史

教 科： 地理歴史 科 目： 発展世界史 単位数： 3 単位

対象学年組：第 3 学年 A B C D 組

使用教科書： （ ）

教科 地理歴史 の目標：

【知 識 及 び 技 能】 地理・歴史の概要を理解し、情報を整理し適切に調べる力を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 学習した地理・歴史的事象を多面的・多角的に考察し、自己の意見を踏まえて表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 学習した地理・歴史的事象について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に取り組む態度を養う。

科目 発展世界史 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容	①ヨーロッパの人々が遠洋に乗り出していった動機や背景を多面的・多角的に考察し表現する。 ②ヨーロッパの人々の進出がアジアにもたらした影響や変化を理解する。 ③中南米の先住民が短期間でスペイン人に征服された要因を理解する。 ④16世紀に一体化が始まった「世界」の性格を多面的・多角的に考察し表現する。	【知識・技能】 「世界の一体化」が始まった時期のアジアにおいて、どのような動きがあったのかを理解している。 【思考・判断・表現】 ヨーロッパ人による航海と探検を示す地図やラス＝カサス『インディアスの破壊についての簡潔な報告』などの資料をもとに、ヨーロッパの海洋進出が諸地域にもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	3
	ルネサンス	①ルネサンスの担い手や彼らの動機について理解する。 ②ルネサンスを支えた精神の特徴を理解し、それが後世に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ③多方面におよぶルネサンスの成果が後世に与えた影響を理解する。	【知識・技能】 ルネサンスの特徴や広がり、それが後世に与えた影響を理解している。 【思考・判断・表現】 美術作品の図像などの資料をもとに、ルネサンスの新しさと古さを多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ルネサンスについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	3
	宗教改革	①それまでの教会改革の試みと16世紀の宗教改革の違いを多面的・多角的に考察し表現する。 ②カルヴァンの教えの特徴やイギリス国教会の成立の意義を理解する。 ③カトリック改革が持つ世界史的な意義を多面的・多角的に考察し表現する。	【知識・技能】 新しい宗派の成立過程やその後のヨーロッパの宗教分布を理解している。 【思考・判断・表現】 「九十五カ条の論題」や『キリスト者の自由』などの資料をもとに、宗教改革の動きが広まった要因を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 宗教改革について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	3
	主権国家体制の成立	①主権国家体制の成立の経緯を多面的・多角的に考察し表現する。 ②16世紀後半のスペイン・イギリス・フランスの関係を理解する。 ③アウクスブルクの和議とウェストファリア条約の異なる点を理解する。	【知識・技能】 主権国家および主権国家体制の成立について、それまでのヨーロッパの状況と比較したうえで理解している。 【思考・判断・表現】 ウェストファリア条約の内容や当時の戦争の様子を示す図像資料をもとに、主権国家体制の成立と戦争の関係を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 主権国家体制の成立について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	オランダ・イギリス・フランスの台頭	①17世紀におけるオランダの経済的な覇権獲得および衰退の要因を多面的・多角的に考察し表現する。 ②17世紀における2つのイギリスの革命について、国際的な状況もふまえて理解する。 ③近世フランスの強みと課題を多面的・多角的に考察し表現する。 ④イギリスとフランスの覇権争いがグローバルな戦いになった背景を理解する。	【知識・技能】 オランダ・イギリス・フランスがそれぞれ持った有利な点や課題を理解している。 【思考・判断・表現】 覇権争いの経過や「権利の章典」などの資料をもとに、イギリスが覇権を握るに至った要因を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 オランダ・イギリス・フランスの覇権争いについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	5

定期考査			○	○		1
産業革命	①海外貿易が近世ヨーロッパ経済の動向に与えた影響を理解する。 ②イギリス産業革命が世界経済や社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ③16世紀に始まった「世界の一体化」とイギリス産業革命との関係について理解する。	【知識・技能】 産業革命が18世紀後半のイギリスから始まった背景や技術革新の展開を理解している。 【思考・判断・表現】 当時の工場の様子を描いた図像資料や都市の人口を示す統計をもとに、産業革命が社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 イギリス産業革命について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	5
フランス革命とナポレオンの支配	①革命中のフランス国家体制の変遷や革命が諸外国に与えた影響を理解する。 ②人権宣言とアメリカ独立宣言を比較し、共通点と相違点を理解する。 ②ナポレオンの支配に対する人々の反応を多面的・多角的に考察し表現する。	【知識・技能】 フランス革命が起こった要因やナポレオンが台頭した背景を理解している。 【思考・判断・表現】 「旧体制」の風刺画などの図像資料や人権宣言などの資料をもとに、フランス革命において「国民」を主役とする社会が創出されたことについて、多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 フランス革命とナポレオンについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	6
ウィーン体制とヨーロッパの政治・社会の変動	①ウィーン会議の参加者たちがどのような国際秩序をめざしていたかを理解する。 ②ウィーン体制を動揺させた要因を多面的・多角的に考察し表現する。 ③19世紀イギリスの政治変革の特徴について、大陸諸国と比較したうえで理解する。 ④イギリス・フランス・ドイツにおける社会主義思想をそれぞれ比較したうえで理解する。	【知識・技能】 19世紀前半のヨーロッパ情勢がどのように推移したのかを、ウィーン体制や1848年革命、さまざまな主義主張の特徴とあわせて理解している。 【思考・判断・表現】 ウィーン会議後のヨーロッパを示す地図や会議を風刺した図像資料などをもとに、ウィーン会議がヨーロッパ各地の人々に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ウィーン体制について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	6
定期考査			○	○		1
第2次産業革命と帝国主義	①新しく生まれた電気・化学製品が人々の日常生活に与えた影響を理解する。 ②帝国主義の支配を受けた地域における社会や文化の変化を多面的・多角的に考察し表現する。 ③各列強が抱えていた国内事情とその課題を理解する。 ④この時期に国際労働運動が再燃した	【知識・技能】 第2次産業革命が社会に与えた影響や帝国主義時代の欧米列強の国内情勢および植民地拡大の経緯を理解している。 【思考・判断・表現】 国際情勢を風刺した図像資料や「白人の責務」などの資料をもとに、欧米列強が植民地や勢力圏の拡大を争った背景を多面的・多角的に考察し表現している。	○	○	○	4
列強の世界分割と列強体制の二分化	①列強の植民地化によるアフリカの社会や文化の変容を多面的・多角的に考察し表現する。 ②列強による太平洋地域の植民地化の経緯を理解する。 ③独立後のブラジル・アルゼンチン・メキシコがたどった道を比較し、共通点と相違点を理解する。 ④20世紀初頭における列強体制の枠組	【知識・技能】 列強による世界分割がどのように進められたかや列強体制の変化について理解している。 【思考・判断・表現】 列強の植民地・勢力圏を示した地図や帝国主義を風刺した図像資料をもとに、列強による世界分割が各地に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	4
アジア諸国の変革と民族運動	①日清戦争と日露戦争が中国および東アジアに与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ②改革をおこなったにもかかわらず清朝が倒れた原因を理解する。 ③インドにおける民族運動の社会的背景を多面的・多角的に考察し表現する。 ④東南アジア各地の民族運動に共通す	【知識・技能】 アジア各地における改革や民族運動がどのように展開し、いかなる結果をもたらしたのかを理解している。 【思考・判断・表現】 アジア各地における改革や民族運動がどのように展開し、いかなる結果をもたらしたのかを理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	4
第一次世界大戦とロシア革命	①バルカン半島で緊張が高まった背景を理解する。 ②歴史上はじめての世界大戦が勃発した原因を多面的・多角的に考察し表現する。 ③戦時外交および総力戦の特徴を理解する。 ④第一次世界大戦がもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現する。	【知識・技能】 第一次世界大戦とロシア革命がどのように展開したのかを、戦時外交や総力戦の特徴、大戦のもたらした結果などとあわせて理解している。 【思考・判断・表現】 塹壕戦やさまざまな新兵器、軍需工場で働く女性の図などの第一次世界大戦に関する図像資料および「平和に関する布告」などの資料をもとに、第一次世界大戦とロシア革命が世界にもたらした変容を多	○	○	○	5
ヴェルサイユ体制下の欧米諸国	①第一次世界大戦後の新たな国際秩序が形成された経緯を理解する。 ②西欧諸国における第一次世界大戦後の展開を多面的・多角的に考察し表現する。 ③国際協調をめぐる1920年代の前半と後半の変化を理解する。 ④イタリアにおけるファシズム体制成立の背景を多面的・多角的に考察し表	【知識・技能】 第一次世界大戦後に形成された国際秩序の内容やその特徴、その後の国際関係の変化について理解している。 【思考・判断・表現】 各国の国内情勢を写した図像資料や「十四カ条」などの資料をもとに、1920年代の欧米各国における変容を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	4

2
学
期

アジア・アフリカ地域の民族運動	①第一次世界大戦が東アジアの政治・経済・文化に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ②日本の勢力拡大に対する中国・朝鮮の人々の対応を多面的・多角的に考察し表現する。 ③南京国民政府による中国統一達成までの経緯を理解する。 ④第一次世界大戦後のインド・東南ア	【知識・技能】 第一次世界大戦がアジア・アフリカの各地に与えた影響を理解する。 【思考・判断・表現】 民族運動の様子を写した図像資料や胡適「文学革命についての書簡」などの資料をもとに、アジア・アフリカ各地の民族運動の特徴や共通性を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	3
定期考查			○	○		1
世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊	①世界恐慌が起こった背景やその影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ②ニューディール政策およびブロック経済の特徴や世界経済への影響を理解する。 ③ナチス＝ドイツの体制が成立する経緯とその政策内容を理解する。 ④ソ連の計画経済が資本主義諸国に与えた影響を理解する。	【知識・技能】 世界恐慌が国際関係に与えた影響や各国の対応策、およびヴェルサイユ体制の崩壊にいたる経緯やファシズム諸国・日本の動きについて理解する。 【思考・判断・表現】 政治的なポスターなどの図像資料や経済的な変化を示す統計資料をもとに世界恐慌下の各国における変容を、またナチ党の全国党大会の図像資料や●介石「盧溝橋事件に関する廬山談話」の文字資料などを	○	○	○	4
第二次世界大戦	①開戦直前における各国のナチス＝ドイツへの対応を多面的・多角的に考察し表現する。 ②ヨーロッパにおける第二次世界大戦の展開を理解する。 ③独ソ戦および太平洋戦争の開戦が第二次世界大戦にもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ④第二次世界大戦の終戦までの経緯を	【知識・技能】 第二次世界大戦の対立の構図と勃発から終戦までの経緯を理解する。 【思考・判断・表現】 戦場を写した図像資料や「大西洋憲章」などの資料をもとに、第二次世界大戦の特徴を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 第二次世界大戦について、自分が抱いた興味・関心	○	○	○	6
新しい国際秩序の形成	①戦後国際秩序がいかなる構想のもとで形成されたのかを理解する。 ②冷戦開始および東西ヨーロッパ分断の進展について、それぞれの経緯を理解する。 ③国民党が共産党に敗れた原因を多面的・多角的に考察し表現する。 ④朝鮮戦争が東アジアの国際情勢に与えた影響を多面的・多角的に考察し表	【知識・技能】 第二次世界大戦後に形成された国際秩序の特徴を、それ以前との相違点をふまえて理解している。 【思考・判断・表現】 各国の様子を写した図像資料や「中華人民政治協商会議共同綱領」などの資料をもとに、戦後国際秩序下の各国における変容を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	4
冷戦の展開	①米ソそれぞれの同盟網の広がりや核開発競争の経緯を理解する。 ②冷戦の進展がアメリカ社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ③西欧と日本の経済復興の背景をそれぞれ理解する。 ④スターリン死後のソ連と東欧における変化を多面的・多角的に考察し表現	【知識・技能】 冷戦がどのように進展したのかを、各国の社会に与えた影響や核開発の動きなどとあわせて理解している。 【思考・判断・表現】 先進国の平均経済成長率を示した統計資料や「スターリン批判」などの資料をもとに、冷戦下における東西両陣営の社会の変容を多面的・多角的に考察し表現している。	○	○	○	4
第三世界の台頭とキューバ危機	①自立化を追求するアジア・アフリカの新興諸国がいかなる行動をとったのかを理解する。 ②アフリカなどの新興国が直面した困難の内容とその原因を理解する。 ③キューバ革命の背景および影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ④国際社会が核兵器の制限に取り組むようになった経緯を理解する。	【知識・技能】 冷戦のもとで第三世界の台頭がどのように進んだのかや、キューバ危機を経て国際社会が核兵器の制限にどのように取り組んだのかを理解している。 【思考・判断・表現】 当時の世界情勢をふまえたうえで「カストロによる第2次ハバナ宣言」などの資料をもとに、キューバ革命が国際社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。	○	○	○	4
定期考查			○	○		1

3
学
期

冷戦体制の動揺	①国際情勢との関係をふまえたうえで、米ソ代理戦争としてのベトナム戦争の性格を理解する。 ②1960年代におけるアメリカ合衆国とソ連のそれぞれの変容を多面的・多角的に考察し表現する。 ③ヨーロッパにおいて緊張緩和が進展した経緯を理解する。 ④ソ連のスターリン批判が中国へ与え	【知識・技能】 ベトナム戦争をはじめとする1960年代以降の冷戦体制の動揺やその推移を、米ソの代理戦争としての視点や各国における変化をふまえて理解している。 【思考・判断・表現】 1960年代の各地の様子を写した図像資料や「チェコスロヴァキア共産党行動綱領」などの資料をもとに、冷戦の動揺が各地にもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現している。	○	○	○	10
冷戦の終結	①1970年代後半から80年代前半において米ソがそれぞれ追求した対外政策の内容を理解する。 ②ソ連で始まった改革と東欧革命との関係を多面的・多角的に考察し表現する。 ③東西対立の緩和が東アジアやアフリカなど諸地域にもたらした影響を理解する。	【知識・技能】 冷戦がどのような過程をたどって終結したのかを理解している。 【思考・判断・表現】 1990年前後の各地の様子を写した図像資料などをもとに、さまざまな出来事と東西対立緩和の関係を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 冷戦の終結について、自分が抱いた興味・関心や疑	○	○	○	10
						合計
						105

高等学校		令和6年度（3学年用）		教科	地理歴史	科目	地理探究
教科：	地理歴史	科目：	地理探究	単位数：	3	単位	
対象学年組：	第3学年	CDGH	組				
使用教科書：	（ ）						
教科	地理歴史	の目標：					
【知識及び技能】		地理・歴史の概要を理解し、情報を整理し適切に調べる力を身に付ける。					
【思考力、判断力、表現力等】		学習した地理・歴史的事象を多面的・多角的に考察し、自己の意見をふまえて表現する力を養う。					
【学びに向かう力、人間性等】		学習した地理・歴史的事象について、よりよい社会の実現を視野に、課題に主体的に取り組む態度を養う。					
科目	地理探究	の目標：					

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の生活文化の多様性や、地球的課題とそれに対する取組、防災への地域的取組を理解するとともに、多様な地図や地理情報システム（GIS）を用いて、諸資料から地理に関する情報を適切かつ効果的に調査し、まとめる技能を身に付けることができる。	地理的事象の意味、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などの地理的見方・考え方に着目し、概念を活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を身に付けることができる。	地理的事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深めることができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元：自然環境 【知識及び技能】 地形、気候、生態系などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、地球環境問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 地形、気候、生態系などに関わる諸事象について、場所の特徴や自然および社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自然環境について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとする。	・指導事項 地形、気候、環境問題 ・一人1台端末の活用 等 GIS活用、資料の共有、プリント提出	【知識・技能】 地形、気候、生態系などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、地球環境問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 【思考・判断・表現】 地形、気候、生態系などに関わる諸事象について、場所の特徴や自然および社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 自然環境について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	30
	定期考査			○	○		1
	単元：資源と産業 【知識及び技能】 資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、資源・エネルギー、食料問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 資源、産業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとする。	・指導事項 農業、工業、資源エネルギー ・一人1台端末の活用 等 GIS活用、資料の共有、プリント提出	【知識・技能】 資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、資源・エネルギー、食料問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 【思考・判断・表現】 資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 資源、産業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	10
	単元：交通と通信、環境と貿易 【知識及び技能】 交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、交通・通信、観光に関わる問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解する 【思考力、判断力、表現力等】 交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現する 【学びに向かう力、人間性等】 交通・通信、観光について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとする	・指導事項 交通・通信、観光、貿易 ・一人1台端末の活用 等 GIS活用、資料の共有、プリント提出	【知識・技能】 交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、交通・通信、観光に関わる問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 【思考・判断・表現】 交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 交通・通信、観光について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	10

	定期考査			○	○		1
2 学 期	単元：人口、村落・都市 【知識及び技能】 人口、都市・村落などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、人口、居住・都市問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解する 【思考力、判断力、表現力等】 人口、都市・村落などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現する 【学びに向かう力、人間性等】 人口、村落・都市について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとする	・指導事項 人口、村落と都市、都市問題 ・一人1台端末の活用 等 GIS活用、資料の共有、プリント提出	【知識・技能】 人口、都市・村落などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、人口、居住・都市問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 【思考・判断・表現】 人口、都市・村落などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 人口、村落・都市について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	単元：現代世界の諸地域 【知識及び技能】 いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、諸地域にみられる地域的特色や地球的課題などについて理解する。いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに、地域の結びつき、構造や変容などを地誌的に考察する方法などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 現代世界の諸地域について、地域の結びつき、構造や変容などに着目して、主題を設定し、地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し、表現する 【学びに向かう力、人間性等】 現代世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとする	・指導事項 アジア、アフリカ、EU諸国、ロシア、アングロアメリカ、ラテンアメリカ、オセアニア ・一人1台端末の活用 等 GIS活用、資料の共有、プリント提出	【知識・技能】 現代世界におけるこれからの日本の国土像の探究をもとに、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを構想することの重要性や、探究する手法などについて理解している。 【思考・判断・表現】 現代世界におけるこれからの日本の国土像について、地域の結びつき、構造や変容、持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを多面的・多角的に探究し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 持続可能な国土像の探究について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に探究しようとしている。	○	○	○	40
	定期考査			○	○		1
3 学 期							
							合計
							105

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科

公民

科目 政治経済

教 科： 公民

科 目： 政治経済

単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 A B C D E F G H 組

使用教科書：（ ）

教科 政治経済

の目標：

【知 識 及 び 技 能】 政治・経済の概要を理解し、情報を整理し適切に調べる力を身に着ける。

【思考力、判断力、表現力等】 学習した政治・経済の概要を多面的・多角的に考察し、自己の意見を踏まえて表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 学習した政治・経済の概要について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に取り組む態度を養う。

科目 政治経済

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
政治・経済の概要を理解し、問題演習を通じて実践的な政治・経済の学習力を身に着ける。	学習した政治・経済の内容を多面的・多角的に考察し、自己の意見を踏まえて表現する力を養う。	学習した政治・経済の内容について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	市場経済の機能と限界について理解する。	・経済活動と市場 ・経済主体と経済循環 ・国民経済の大きさと経済成長	【知識・技能】 市場経済の機能と限界について総合的に理解し効果的に調べる技能が身についている。 【思考・判断・表現】 上記の概要を多面的・多角的に考察し説明・表現する力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の概要をよりよい社会の実現のために主体的に追求しようとする態度を持っている。	○	○	○	11
	中間考査			○	○		1
	物価・景気変動、市場の失敗、公害・消費者問題について理解する。	・物価と景気変動 ・市場の失敗と公害・消費者問題 ・外部経済の内部化の方法	【知識・技能】 物価・景気変動、市場の失敗、公害・消費者問題について総合的に理解し効果的に調べる技能が身についている。 【思考・判断・表現】 上記の概要を多面的・多角的に考察し説明・表現する力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の概要をよりよい社会の実現のために主体的に追求しようとする態度を持っている。	○	○	○	11
	期末考査			○	○		1
2 学 期	持続可能な財政、租税のあり方、金融を通じた経済活動の活性化について理解する。	・財政のしくみと租税の意義 ・持続可能な財政を実現するための税制のあり方 ・金融のしくみとはたらき	【知識・技能】 持続可能な財政、租税のあり方、金融を通じた経済活動の活性化について総合的に理解し効果的に調べる技能が身についている。 【思考・判断・表現】 上記の概要を多面的・多角的に考察し説明・表現する力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の概要をよりよい社会の実現のために主体的に追求しようとする態度を持っている。	○	○	○	12
	中間考査			○	○		1
		・少子高齢化における社会保障の充実・安定 ・地域社会と自立と政府 ・多様な働き方・生き方を可能にする社会 ・産業構造の変化と起業	【知識・技能】 現代日本の諸課題について総合的に理解し効果的に調べる技能が身についている。 【思考・判断・表現】 上記の概要を多面的・多角的に考察し説明・表現する力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の概要をよりよい社会の実現のために主体的に追求しようとする態度を持っている。	○	○	○	12
	学年末考査			○	○		1
3 学 期	国際政治・経済について理解する。	・国際法の果たす役割 ・国際平和と人類の福祉	【知識・技能】 国際政治・経済について理解し効果的に調べる技能が身についている。 【思考・判断・表現】 上記の概要を多面的・多角的に考察し説明・表現する力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の概要をよりよい社会の実現のために主体的に追求しようとする態度を持っている。	○	○	○	20
	授業内テスト			○	○		
							合計 70

高等学校令和6年度（3学年用）教科公民科目政治経済演習

教科：公民科 目：政治経済演習単位数：2単位

対象学年組：第3学年ACDGH組（自由選択科目）

使用教科書：（ ）

- 教科公民の目標：
- 【知識及び技能】

政治・経済の概要を理解し、情報を整理し適切に調べる力を身に着ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】

学習した政治・経済の概要を多面的・多角的に考察し、自己の意見を踏まえて表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】

学習した政治・経済の概要について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に取り組む態度を養う。

科目政治経済演習の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
政治・経済の概要を理解し、問題演習を通じて実践的な政治・経済の学習力を身に着ける。	学習した政治・経済の内容を多面的・多角的に考察し、自己の意見を踏まえて表現する力を養う。	学習した政治・経済の内容について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	現代日本の政治・経済の諸課題を理解し、近代政治の発展過程、日本国憲法と現代政治について理解する。	・政治と法の意義と機能 ・法の支配と立憲主義 ・基本的人権の保障と日本国憲法 ・現代社会における新しい人権	【知識・技能】 政治と法の意義と機能、基本的人権と日本国憲法について総合的に理解し効果的に調べる技能が身についている。 【思考・判断・表現】 上記の概要を多面的・多角的に考察し説明・表現する力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の概要をよりよい社会の実現のために主体的に追求しようとする態度を持っている。	○	○	○	11
	授業内テスト			○	○		1
	議会制民主主義と国会・内閣・司法制度について理解する。	・権利と義務の関係 ・議会制民主主義と世界の政治体制 ・国会の組織と立法 ・内閣の機構と司法制度	【知識・技能】 議会制民主主義、国会・内閣・司法制度の意義と機能について総合的に理解し効果的に調べる技能が身についている。 【思考・判断・表現】 上記の概要を多面的・多角的に考察し説明・表現する力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の概要をよりよい社会の実現のために主体的に追求しようとする態度を持っている。	○	○	○	11
	授業内テスト			○	○		1
2 学期	望ましい政治のあり方と主権者としての政治参加について理解する。	・地方自治制度と住民の権利 ・政党政治と選挙 ・主権者としての政治参加のあり方	【知識・技能】 地方自治制度、住民の権利、主権者としての政治参加の意義について総合的に理解し効果的に調べる技能が身についている。 【思考・判断・表現】 上記の概要を多面的・多角的に考察し説明・表現する力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の概要をよりよい社会の実現のために主体的に追求しようとする態度を持っている。	○	○	○	12
	授業内テスト			○	○		1
	国際法の果たす役割、国際平和と人類の福祉、日本の国際貢献について理解する。	・国際社会の変遷 ・国際法の意義 ・国際機構の役割 ・国際紛争と軍縮への取り組み ・日本の国際貢献	【知識・技能】 国際法、国際平和と人類の福祉、日本の国際貢献について総合的に理解し効果的に調べる技能が身についている。 【思考・判断・表現】 上記の概要を多面的・多角的に考察し説明・表現する力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の概要をよりよい社会の実現のために主体的に追求しようとする態度を持っている。	○	○	○	12
	授業内テスト			○	○		1
3 学期	国際経済と日本の役割について理解する	・国際経済における日本の地位と国際協力 ・国際経済の安定と成長に向けた日本の役割	【知識・技能】 国際経済と日本の役割、』国際協力について総合的に理解し効果的に調べる技能が身についている。 【思考・判断・表現】 上記の概要を多面的・多角的に考察し説明・表現する力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 上記の概要をよりよい社会の実現のために主体的に追求しようとする態度を持っている。	○	○	○	20
	授業内テスト			○	○		
							合計
							70

高等学校 令和6年度		教科 数学	科目 数学Ⅲ
教 科： 数学	科 目： 数学Ⅲ	単位数： 5	単 位
対象学年組：第 3 学年 A 組～ H 組			
使用教科書：（		）	
教科 数学		の目標：	
【知 識 及 び 技 能】		数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。	
【思考力、判断力、表現力等】		数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を 簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。	
【学びに向かう力、人間性等】		数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしたりする。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしたりする。	
科目 数学Ⅲ		の目標：	

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
極限、微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数列や関数の値の変化に着目し、極限について考察したり、関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数学的に考察したりする力、いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	分数関数 無理関数 逆関数と合成関数	分数関数や無理関数の性質を理解し、それを方程式や不等式の考察に活用できるようにする。また、関数の一般的な性質として逆関数や合成関数などについて理解し、事象の考察に活用できるようにする。	【知識・技能】分数関数、無理関数のグラフをかくことができる。逆関数のグラフと元の関数のグラフの関係を理解し、逆関数のグラフをかくことができる。 【思考・判断・表現】方程式や不等式を、分数関数と無理関数のグラフを利用解くことができる。逆関数の定義域や値域、性質を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】方程式や不等式の考察に、積極的に関数のグラフを活用しようとする。関数が逆関数をもたない場合について、定義やグラフを用いて考察しようとする。	○	○	○	15
	数列の極限 無限等比数列 無限級数 関数の極限 三角関数と極限 関数の連続性	数列の極限と関連させて関数の極限について理解し、関連して関数の連続性についても理解するとともに、それらを様々な関数の考察に活用できるようにする。	【知識・技能】数列や関数の極限について、収束、発散などの用語の意味を正確に理解し、調べることができる。右側極限、左側極限、 $x \rightarrow \pm\infty$ のときの関数の極限ついて理解し、指数関数、対数関数、三角関数についても簡単な極限を求めることができる。 【思考・判断・表現】不定形を解消するように工夫して式変形し、極限を求めることができる。はさみうちの原理を用いて極限を求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】数列や関数の極限を求めるのに、不定形を解消する方法を工夫する。連続でない関数に興味をもち、グラフを用いて調べようとする。	○	○	○	25
	定期考查			○	○	○	1
	微分係数と導関数 導関数の計算 いろいろな関数の導関数 第 n 次導関数 曲線の方程式と導関数	微分係数や導関数の定義を理解し、導関数についての様々な性質や公式を導き、それを用いて関数が微分できるようにする。また、陰関数や媒介変数で表された関数の微分もできるようにし、それらを事象の考察に活用できるようにする。	【知識・技能】定義にしたがって微分係数と導関数を求めることができる。公式を適用して、積の導関数、商の導関数、合成関数、逆関数の導関数を求めたり三角関数、指数関数、対数関数微分することができる。陰関数や媒介変数で表された関数を微分することができる。 【思考・判断・表現】連続性が微分可能性の必要条件であるが十分条件ではないことを、具体的な関数を用いて考察できる。これまで学んだ公式を用いて、新たな公式を証明することができる。 $\log_{10}x$ の導関数について、それを考える理由とともに理解し、導関数の計算ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 $(x^\alpha)^\alpha = \alpha x^{\alpha-1}$ において、 α の範囲が自然数、整数、有理数と拡張されていくことに興味をもち、その展開について理解を深めようとする。	○	○	○	40
	定期考查			○	○	○	1
2 学期	接線の方程式 平均値の定理 関数の値の変化 関数のグラフ 方程式・不等式への応用 速度と加速度 近似式	導関数を、接線、関数の増減、グラフなどに活用できるようにするとともに、積極的に導関数を活用しようとする姿勢を育てる。	【知識・技能】微分係数の意味を理解しており、曲線の接線、法線の方程式を求めることができる。平均値の定理の図形的な意味を理解している。第2次導関数の図形的な意味を理解し、曲線の凹凸や変曲点を調べることができる。 【思考・判断・表現】平均値の定理を用いた不等式の証明ができる。微分可能でない点でも関数が極値をもつことがあることを理解し、定義をもとに極値を求めることができる。増減や凹凸、漸近線などを調べて、関数のグラフをかくことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】導関数だけでなく連続性や微分可能性、極値の定義などにも注意して、増減を丁寧に調べようとする。関数のグラフの様々な形に興味をもち、様々な方法でそれを調べようとする。				40
	定期考查			○	○	○	1
	不定積分とその基本性質 置換積分法と部分積分法 いろいろな関数の不定積分 定積分とその基本性質 置換積分法と部分積分法 定積分のいろいろな問題	様々な関数の不定積分やその計算法則を導関数をもとにして考え、それをもとに不定積分を求められるようにする。 様々な関数の定積分を求められるようにする。また、定積分を面積として捉え、様々な事象の考察に活用できるようにする。	【知識・技能】不定積分と定積分の定義や性質を理解し、また、合成関数の微分の逆演算として置換積分法を、積の微分の逆演算として部分積分法を理解し、積分を求めることができる。 【思考・判断・表現】部分積分法を用いるとき、どの関数を $f(x)$ 、 $g(x)$ と考えるか、適切に判断でき、その根拠を説明できる。 $\int (a^2-x^2)$ の定積分について、円の面積と関連付けて考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】簡単には積分が求められない場合に、置換積分法や部分積分法を用いて計算しようとする。区分求積法を理解し、定積分と数列の和の極限との関係を考察しようとする。	○	○	○	40
	定期考查			○	○	○	1
3 学期	面積 体積 道のり 曲線の長さ	定積分を活用して、面積、体積、曲線の長さなどを求められるようにし、またそれらを通じて定積分の理解をさらに深める。	【知識・技能】定積分を用いて、図形の面積と軸の周りの回転体の体積を求めることができる。 【思考・判断・表現】媒介変数表示された曲線で囲まれた図形の面積を、置換積分法を活用して求めることができる。立体の断面がどのような図形になるか考え、定積分を用いて体積を求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】定積分を用いると、既習の三角錐や円錐の体積、球の体積の公式が導けることに興味をもち、積極的に考	○	○	○	11

▼			1. 距離の増加、および距離の減少が等しいことに注意せよ。距離が増加 察しようとする。				
---	--	--	--	--	--	--	--

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科			理数	科目	理数探究基礎
教 科：	理数	科 目：	理数探究基礎	単位数：	2 単位
対象学年組：	第 3 学年	A 組～	H 組		
使用教科書：	（ ）				
教科	理数	の目標：			
【知 識 及 び 技 能】		数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。			
【思考力、判断力、表現力等】		数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を 簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。			
【学びに向かう力、人間性等】		数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしたりする。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしたりする。			
科目	理数探究基礎	の目標：			

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
様々な事象についての探究などを行うことを通して、探究の意義、探究の過程、研究倫理などの理解を図るとともに、観察、実験、調査等についての基本的な技能、事象を分析するための基本的な技能、探究した結果をまとめ、発表するための基本的な技能などを身に付ける。	多角的、複合的に事象を捉え、課題を設定し、数学的な手法や科学的な手法などを用いて、探究の過程を遂行させ、探究した結果などを適切に表現できる。	様々な事象や課題に知的好奇心をもって向き合い、興味・関心に基づいて課題を設定し、粘り強く考え行動し、課題の解決に向けて挑戦しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元 「科学的とは」 【知識及び技能】 探究の意義や科学的に探究するために必要なことを具体的に示すことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 科学的に探究することの重要性を具体的に説明でき、事例について正しく判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業やグループでの話しあいの中で意見を出しあい、他者の意見についても調べて理解を深めている。	・指導事項 基本的な概念・原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 「新編 実用数学セミナー」 ・一人1台端末の活用 タブレットを用いた多面的理解及び自己の考察の発表	【知識・技能】 探究の意義や科学的に探究するために必要なことを具体的に示すことができる。 【思考・判断・表現】 科学的に探究することの重要性を具体的に説明でき、事例について正しく判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業やグループでの話しあいの中で意見を出しあい、他者の意見についても調べて理解を深めている。	○	○	○	4
	単元 「探究するうえでの心構え」 【知識及び技能】 研究倫理について注意すべき点を具体的に示すことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 研究倫理の重要性を具体的に説明することができ、事例について正しく判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業やグループでの話しあいの中で意見を出しあい、他者の意見についても調べて理解を深めている。	・指導事項 基本的な概念・原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 「新編 実用数学セミナー」 ・一人1台端末の活用 タブレットを用いた多面的理解及び自己の考察の発表	【知識・技能】 研究倫理について注意すべき点を具体的に示すことができる。 【思考・判断・表現】 研究倫理の重要性を具体的に説明することができ、事例について正しく判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業やグループでの話しあいの中で意見を出しあい、他者の意見についても調べて理解を深めている。	○	○	○	9
	単元 「テーマの設定」 【知識及び技能】 テーマについて文献等で調べ、原理を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 テーマの焦点をしぼり、検証できるテーマを設定できている。 【学びに向かう力、人間性等】 仲間や先生と探究について議論をし、探究に取り組んでいる。	・指導事項 基本的な概念・原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 「新編 実用数学セミナー」 ・一人1台端末の活用 タブレットを用いた多面的理解及び自己の考察の発表	【知識・技能】 テーマについて文献等で調べ、原理を理解することができる。 【思考・判断・表現】 テーマの焦点をしぼり、検証できるテーマを設定できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 仲間や先生と探究について議論をし、探究に取り組んでいる。	○	○	○	9
	単元 「仮説を立てる」 【知識及び技能】 根拠に基づいて適切な仮説を立てることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 検証可能な仮説を立て、その根拠を説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 仲間や先生と探究について議論をし、探究に取り組んでいる。	・指導事項 基本的な概念・原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 「新編 実用数学セミナー」 ・一人1台端末の活用 タブレットを用いた多面的理解及び自己の考察の発表	【知識・技能】 根拠に基づいて適切な仮説を立てることができる。 【思考・判断・表現】 検証可能な仮説を立て、その根拠を説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 仲間や先生と探究について議論をし、探究に取り組んでいる。	○	○	○	14
2 学 期	単元 「探究計画を立てる」 【知識及び技能】 条件制御や対照実験、精度を上げる工夫など、探究計画に必要な知識・技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 条件制御や対照実験、精度などを考慮して、探究計画を立てることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 仲間や先生と探究について議論をし、探究に取り組んでいる。	・指導事項 基本的な概念・原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 「新編 実用数学セミナー」 ・一人1台端末の活用 タブレットを用いた多面的理解及び自己の考察の発表	【知識・技能】 条件制御や対照実験、精度を上げる工夫など、探究計画に必要な知識・技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 条件制御や対照実験、精度などを考慮して、探究計画を立てることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 仲間や先生と探究について議論をし、探究に取り組んでいる。	○	○	○	10
	単元 「結果の分析」 【知識及び技能】 データを評価し、その関係を分析するための方法を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 データを評価し、その関係を分析するための方法を身につけている。 【学びに向かう力、人間性等】 仲間や先生と探究について議論をし、探究に取り組んでいる。	・指導事項 基本的な概念・原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 「新編 実用数学セミナー」 ・一人1台端末の活用 タブレットを用いた多面的理解及び自己の考察の発表	【知識・技能】 データを評価し、その関係を分析するための方法を身につけている。 【思考・判断・表現】 データを評価し、その関係を分析するための方法を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 仲間や先生と探究について議論をし、探究に取り組んでいる。	○	○	○	10
	単元 「成果をまとめる」 【知識及び技能】 論文に必要な要素とその表現方法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 適切な分量・構成・内容・表現の論文を期限までに作成することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 仲間や先生と探究について議論をし、探究に取り組んでいる。	・指導事項 基本的な概念・原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 「新編 実用数学セミナー」 ・一人1台端末の活用 タブレットを用いた多面的理解及び自己の考察の発表	【知識・技能】 論文に必要な要素とその表現方法を理解している。 【思考・判断・表現】 適切な分量・構成・内容・表現の論文を期限までに作成することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 仲間や先生と探究について議論をし、探究に取り組んでいる。	○	○	○	10
3 学 期	単元 「成果を発表する」 【知識及び技能】 ポスター・スライドの構成要素や表現方法を理解し、効果的な伝達方法を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 整理された内容のポスター・スライドを効果的な構成・表現を考慮して作成し、十分練習したうえで発表を行っている。 【学びに向かう力、人間性等】 仲間や先生と探究について議論をし、探究に取り組んでいる。	・指導事項 基本的な概念・原理・法則の解説、問題演習、小テスト、課題提出 ・教材 「新編 実用数学セミナー」 ・一人1台端末の活用 タブレットを用いた多面的理解及び自己の考察の発表	【知識・技能】 ポスター・スライドの構成要素や表現方法を理解し、効果的な伝達方法を身につけている。 【思考・判断・表現】 整理された内容のポスター・スライドを効果的な構成・表現を考慮して作成し、十分練習したうえで発表を行っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 仲間や先生と探究について議論をし、探究に取り組んでいる。	○	○	○	4

[illegible]

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 理科 科目 発展化学

教 科： 理科 科 目： 発展化学 単位数： 3 単位

対象学年組：第 3 学年 D 組～ F 組

使用教科書： （ ）

教科 理科 の目標：

【知 識 及 び 技 能】 自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 自然の事物・現象から問題を見いだし，見通しをもって観察，実験などを行い，得られた結果を分析して解釈し，表現するなど，科学的に探究する力を身につける。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとする態度を身に付ける。

科目	発展化学	の目標：	
	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	化学的な事物・現象についての観察，実験などを行うことを通して，化学の基本的な概念や原理・法則の理解を図るとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する技能を身に付ける。	化学的な事物・現象を対象に，探究の過程を通して，情報の収集，仮設の設定，実験の計画，実験による検証，実験データの分析・解釈などの探究の方法を習得する。また，報告書を作成したり発表したりして，科学的に探究する力を身につける。	化学的な事物・現象に対して主体的に関わり，それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度など，科学的に探究しようとする態度を身につける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	4 章有機化合物 1 節 有機	・有機化合物の歴史、無機化学との違	・有機化合物の特徴を理解し、分類することが出来	○	○	○	5
	2 節 脂肪族炭化水素 1 飽和炭化水素 2 不飽和炭化水素 3 脂環式炭化水素	・アルカン(メタン系炭化水素)の基本名称と異性体の国際名並びに慣用名による命名法について理解させる。さらにアルカンの物性・化学的な性質・反応の仕方並びに使用用途について理解させる。・アルケン(エレン系炭化水素)・アルキン(アセレン系炭化水素)についてもアルカン同様に命名法並びに性質・反応の仕方並びに使用用途について理解させる。・脂環式炭化水素では、シクロアルカンとシクロアルキンの命名法並びに反応を含めた性質を理解させる。その為に問題演習・小テスト・実験を実施する。	・アルカン(メタン系炭化水素)の基本名称と異性体の国際名並びに慣用名による命名法について理解させる。さらにアルカンの物性・化学的な性質・反応の仕方並びに使用用途について理解させる。・アルケン(エレン系炭化水素)・アルキン(アセレン系炭化水素)についてもアルカン同様に命名法並びに性質・反応の仕方並びに使用用途について理解させる。・脂環式炭化水素では、シクロアルカンとシクロアルキンの命名法並びに反応を含めた性質を理解させる。その為に問題演習・小テスト・実験を実施する。	○	○	○	9
	定期考查			○	○		1
	3 節 酸素を含む脂肪族化合物 1 アルコールとエーテル 2 アルデヒドとケトン	・酸素を含む脂肪族化合物について、それぞれの物質が持つ官能基によって共通の性質がもたせることが理解する。各化合物の命名法もIUPAC(国際名)と慣用名の両方について学ばせ、名称から構造式を導き出せるようにする。ここではアルコールとエーテルが構造異性体の関係にある事。カルボニル化合物のアルデヒドとケトンでの還元性の有無について理解させる為に銀鏡反応実験を実施し考察させる。また、問題演習・小テストを実施。	・酸素を含む脂肪族化合物について、それぞれの物質が持つ官能基によって共通の性質がもたせることが理解する。各化合物の命名法もIUPAC(国際名)と慣用名の両方について学ばせ、名称から構造式を導き出せるようにする。ここではアルコールとエーテルが構造異性体の関係にある事。カルボニル化合物のアルデヒドとケトンでの還元性の有無について理解させる為に銀鏡反応実験を実施し考察させる。また、問題演習・小テストを実施。	○	○	○	19
	定期考查			○	○		1
	3 カルボン酸とエステル	・酸素を含む脂肪族化合物について、それぞれの物質が持つ官能基によって共通の性質がもたせことを理解する。各化合物の命名法もIUPAC(国際名)と慣用名の両方について学ばせ、名称から構造式を導き出せるようにする。ここではカルボン酸の命名法・反応・性質並びにカルボン酸とアルコールの脱水縮合で得られるエステルさらに高級脂肪酸とグリセリンのエステルである油脂についてもその講座や性質用途について理解させる。特にエステルや油脂は人間生活に利用されていることの理解興味をもたせる。理解させる為に問題演習・小テストを実施。	・酸素を含む脂肪族化合物について、それぞれの物質が持つ官能基によって共通の性質がもたせことを理解し、人間生活に利用される有機化合物について興味を持ち、その利用のされ方を積極的に探究しようとする。	○	○	○	10

4 節 芳香族化合物 芳香族化合物 含む芳香族化合物 3 窒素を含む芳香族化合物 4 混合物の分離 有機化合物と人間生活 1 エネルギーの利用 2 洗剤 料と染色 5 有機化合物と生体	1 芳 2 酸素を 5 節 3 染 4 医薬品	・ベンゼン環を持つ誘導体芳香族化合物の種類とその性質について理解させる。フェノール類についてその種類、性質、用途について理解させる。・フェノールは、酸としての性質とアルコールとしての性質を持つことを理解させるため両者を比較して理解させる。さらに－OHが付く化合物には塩基もあり、この違いも説明する。・芳香族カルボン酸(安息香酸・フタル酸・テレフタル酸・サリチル酸)その性質用途について理解させる。また、弱酸の遊離現象についても理解させる。・ニトロ化合物のニトロベンゼンの性質、用途について理解させる。・アニリンをはじめとした芳香族アミンの性質と用途について理解させる。また、アゾ化合物についてジアゾ化、カップリング反応についてそのメカニズムについて理解させる。芳香族化合物のベンゼン誘導体の系統的藩王物系統図を理解させ、ベンゼンに何が置換するとどんな芳香族化合物になるかが分かるようにさせる。芳香族化合物の混合物を分離検出させる方法を理解させる。・燃料、食品、医薬品や、洗剤、染料などに有機化合物が利用されていることを理解させる。また、どんな特徴を生かして利用されているのか理解させる。理解させる為に問題演習・小テストを実施。	・芳香族化合物について、それぞれの物質が持つ官能基によって共通の性質がもたらせることを理解し、その性質を実験的に確かめることができる。・人間生活で利用されている有機化合物について理解し、具体的な例を知識として身につけている。・芳香族炭化水素について、その構造や性質、反応性を意欲的に探求しようとしている。	○	○	○	20
定期考查				○	○		1
5 章 高分子化合物 高分子化合物 物の分類と特徴 2 節 天然高分子化合物 1 糖 ンパク質 3 節 合成高分子化合物 1 合成高分子化合物の分類	1 節 1 高分子化 2 タ 3 核酸	・高分子化合物について、無機と有機並びに天然高分子化合物と合成高分子化合物の分類と、性質や用途について理解させる。天然高分子化合物である糖類の分類法、単糖類・二糖類・多糖類の種類と性質、用途について理解させる。また、多糖類のセルロースについては、レーヨン等の身近な繊維についても紹介し理解させる。タンパク質については、単量体であるアミノ酸の種類とその性質さらには、その高分子化合物であるタンパク質の構成について理解させる。・アミノ酸の種類とその性質さらには、その高分子化合物であるタンパク質の構成について理解させる。核酸は、生物分野でもあるDNAとRNAの違いや性質について理解させる。石油化学製品である合成高分子化合物について重合の種類や製品である合成繊維やプラスチックの種類その用途について理解させる。理解させる為に問題演習・小テストを実施。	天然高分子化合物の性質と反応に関する概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。・代表的な物質の構造とその性質、存在例を理解している。・上記の内容を意欲的に探求しようとしている。・人間生活に用いられている天然高分子化合物について理解し、その利用のされ方を積極的に探求しようとする。	○	○	○	19
定期考查				○	○		1

3 学 期	2 合成繊維 成樹脂 高分子化合物 5 ゴム 高分子化合物と人間生活 2 機能性高分子 源の再利用	3 合 4 機能性 4 節 1 繊維 3 資	熱可塑性樹脂と熱硬化性樹脂の違いについても理解させる。天然ゴムと合成ゴムについてその製法と性質、用途について理解させる。機能性高分子化合物であるイオン交換樹脂の反応性質を理解させるとともに導電性高分子や吸水性高分子・生分解性高分子についても理解させる。また、高分子化合物が日常生活でどのように利用されているのかを理解させる。化学の共通テストの過去問題を解かせ、得点率向上を目指す。理解させる為に問題演習・小テストを実施。化学の共通テストの過去問題を解かせ、得点率向上を目指す。	合成高分子化合物の性質と反応に関する概念や原理・法則を理解し、知識を身につけているとともに代表的な物質の構造とその性質、利用例を理解することができる。・人間生活で利用されている合成高分子化合物について理解し、知識として身につけている、さらに興味を持ってその利用のされ方を積極的に探求しようとする。	○	○	○	19
								合計 105

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 理科 科目 化学基礎演習

教 科： 理科 科 目： 化学基礎演習 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 D 組～ F 組

使用教科書： （ ）

- 教科 理科 の目標：
- 【知 識 及 び 技 能】

自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】

自然の事物・現象から問題を見いだし，見通しをもって観察，実験などを行い，得られた結果を分析して解釈し，表現するなど，科学的に探究する力を身につける。
- 【学びに向かう力、人間性等】

自然の事物・現象に主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとする態度を身に付ける。

科目 化学基礎演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
化学的な事物・現象についての観察，実験などを行うことを通して，化学の基本的な概念や原理・法則の理解を図るとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する技能を身に付ける。	化学的な事物・現象を対象に，探究の過程を通して，情報の収集，仮設の設定，実験の計画，実験による検証，実験データの分析・解釈などの探究の方法を習得する。また，報告書を作成したり発表したりして，科学的に探究する力を身につける。	化学的な事物・現象に対して主体的に関わり，それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度など，科学的に探究しようとする態度を身につける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	序章 物質と化学 1 章 物質の探求 1 節物質の探求 1 物質の分類と性質 A 物質の分類 B 純物質を取り出す方法 2 物質と元素 A 元素 B 単体と化合物 C 成分元素の検出 3 物質の三態と熱運動 A 熱運動 B 状態変化	・身のまわりの物質に着目し，我々の生活が物質に支えられていることを理解させる。物質について調べることに より，さまざまな物質も特徴によって分類することができることを理解させる。中学で行った物質に関する実験を振り返り，これから学ぶ化学が物質に関する学問であることを理解させる。 ・混合物と純物質の違いを理解し，自然界の物質の多くが混合物であることを理解させる。また，混合物から目的の物質に分離するには，物質の性質に合わせた方法があることを知る。 ・元素の意味を知り，純物質のなりたちを理解する。 ・粒子の熱運動と温度及び物質の三態変化との関係について理解する。上記内容を理解させるための課題・小テスト及び実験を実施する。	物質の性質に注目し，それぞれの物質を性質ごとに分類することができる。身のまわりの物質を純物質と混合物に分類することができる。 物質を探究するための具体的な方法を身につけている。 粒子の熱運動と粒子間にはたらく力との関係を理解している。物質の状態変化について粒子の運動をもとに考えることができる。物質の構造や性質に関する事象に関心を持ち，意欲的に物質を探究しようとする。 身近な物質の三態変化と、粒子の熱運動と温度との関係に関心を持ち，それらを意欲的に探究しようとする。	○	○	○	4
	2 節 物質の構成粒子 1 原子の構造 A 原子とその構造 B 同位体 C 電子殻と電子配置 2 イオンの生成 A イオンの生成 B イオンになるためのエネルギー 3 元素の周期表 A 周期表 B 元素の分類	・原子の構造及び陽子、中性子、電子の性質を理解する。同位体の定義とその性質を理解する。電子殻と電子配置と価電子の関係・希ガスの電子配置の重要性について理解させる。 ・陽イオン、陰イオンの生成のしくみを理解する。陽イオンと陰イオンについて・イオンの生成とイオン化エネルギーと電子親和力の関係を周期表の位置で理解でいるようにする。 ・元素の周期律及び原子の電子配置と周期表の族や周期との関係について理解する。上記内容を理解させるための課題・小テスト及び実験を実施する。	物質が原子から成り立っていることを理解している。原子は原子核と電子からなっていて、価電子が物質の性質を決めていることを理解している。同位体についての正しい知識を身につけている。元素の性質が電子配置と関係しており、現在の周期表がつくられていることを理解することができる。原子構造の簡単なモデルを描く技能を習得し、的確に表現する。 イオンの生成を電子配置と関連づけて考えることができる。元素の性質に興味を持ち、元素の性質が周期的に変わることを探究しようとする。	○	○	○	5

1 学 期	定期考査				○	○		1
	2章 物質と化学結合 イオン結合 結合とイオン結晶 Bイオン結晶 イオン結合からなる物質 の性質 のイオンからなる物質	1節 1イオン Aイオン結合 2イ Aイオンか B身のまわり	・陽イオンと陰イオン間の静電氣的引 力によりイオン結合が形成されること を理解する。イオン結合とイオン結晶 さらに陽イオンと陰イオンのイオン結 合で構成される化合物の組成式が書け るようにさせる。またイオン結晶の性 質を理解する。身の回りのイオンを認識 させる。上記内容を理解させるための 課題・小テスト及び実験を実施する。	イオン結合がイオン間の静電氣的な引力による結合 であることを理解している。イオン結合でできた物 質に共通する性質について、推論することができ る。 水溶液中や熔融した状態のイオンの挙動をイメージ し、表現することができる。イオン結合でできた物 質の性質について探究しようとする。	○	○	○	4

2節 共有結合と分子間力 有結合と分子 結合と分子の形成 力と分子結晶 と極性 く力 質 B 共有結合の結晶	1 共有結合 A 共有結合と分子の形成 2 分子間力と分子結晶 A 電気陰性度 B 分子間にはたらく力 3 共有結合からなる物質 A 分子からなる物質	・共有結合を電子式を用いて説明することができるようにする。(電子対・不対電子・共有電子対)また共有結合を構造式で表し、単結合・二重結合・三重結合が存在することを理解させる。・原子価(結合手)の求め方を理解させ、結合の形を予想させる。共有結合の一種である配位結合の原理を理解させる。・電気陰性度の差による極性・無極性の分子の存在と結合の関係を理解させる。また、主な結合以外の分子間に働くファンデルワールス力と水素結合について理解させる。・分子からなる物質、共有結合の結晶、高分子化合物の用途について、性質と関連つけて理解させる。上記内容を理解させるための課題・小テスト及び実験を実施する。	共有結合を電子配置と関連づけて理解している。配位結合について理解している。分子の電子式・構造式を書くことができる。電気陰性度を理解している。分子に働く力を理解し、分子結晶や高分子化合物について理解している。電気陰性度を理解し、分子の形と合わせて極性について考えることができる。分子からなる物質や、共通結合の結晶の性質について探究しようとする。	○	○	○	5
3節 金属結合 属結合と金属結晶 4節 化学結合と物質 晶の分類 合と身のまわりの物質	1 金属結合 2 金属結合と物質 1 結晶の分類 2 化学結合と身のまわりの物質	・金属結合は、自由電子で全体で共有して結合していることを理解させ、この自由電子によって金属独特な延性、展性、金属光沢、熱及び電気伝導性の性質があることを理解させる。・それぞれの化学結合によってできた結晶について、その性質や構成粒子などを比較し、理解する。それぞれの化学結合でできた代表的な物質について理解する。上記内容を理解させるための課題・小テスト及び実験を実施する。	金属結合が自由電子の介在した結合であることを理解している。電気伝導性や展性、延性などの金属の性質と関連付けて理解している。身近な金属の色や性質、電気や熱の伝導度について観察したり、調べたりする技能を習得している。自由電子と金属の性質を結び付けて考えることができる。金属元素どうしがどのように結びついているのかについて探究しようとする。金属に共通する性質について、探究しようとする。1～3節で学習した化学結合の種類を系統だてて理解している。	○	○	○	4

	定期考査																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
--	------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2
学
期

定期考査							○	○		1
2節 酸と塩基 と塩基 塩基性 定義 A酸と塩基の価数 と塩基の強弱 オン濃度とPH 濃度 4 中和反応と塩 と塩基の反応 C 中和反応と量的関係 和滴定	1 酸 A酸性と B酸と塩基の 2 酸と塩基の分類 B酸 3 水素イ A水素イオン B水素イオン指数 A酸 B塩 D中	・酸と塩基についてアレニウスの定義並びにブレンステッド・ローリーの定義を理解させ、酸と塩基の違いと性質並びに強弱について学ばせる。・強酸と強塩基の水素イオン濃度並びにPHを計算で求めることが出来るようにする。・中和反応の仕組みを理解させる。生成された塩から元の酸・塩基を導き出せるようにする。・中和反応の量的関係を理解させ、中和滴定における未知試料の濃度を中和公式を用いて計算し、導き出せるようにする。・実験や演習問題で中和公式を使って計算できるようにする。中和滴定に必要な器具の特性や、どういう組み合わせで指示薬を選択するかを中和滴定曲線を用いて理解させる。・塩の生成と種類について理解させる。・塩が加水分解した場合何性の水溶液になるかが分かるように理解させる。上記内容を理解させるための課題及び実験を実施する。上記内容を理解させるための課題・小テスト及び実験を実施する。期末テストを実施。	酸・塩基の定義を理解し、日常生活と関連つけて酸・塩基の反応を捉えることができる。酸・塩基の価数・強弱の関係を理解している。性、塩基性の程度とpHの関係を理解している。実験「いろいろな水溶液のpH測定」を行い、pH試験紙でいろいろな溶液や身近な物質のpHを測定する技能を修得している。中和反応における量的関係を理解している。メスフラスコ、ビュレット、ホールビペットなどの実験器具の取り扱いを習得している。酸・塩基の量的関係から濃度未知の酸や塩基の濃度を実験で求める技能を修得している。酸・塩基の化学式や酸・塩基の反応を通して、酸と塩基の共通性を見出し、酸・塩基の定義を理解できる。酸・塩基の価数・強弱の関係を理解し、電離度に関連付けて考察することができる。酸・塩基はどのような物質であるか探究するとともに、酸性、塩基性の程度を表す方法を探究しようとする。				○	○	○	16

高等学校 令和6年度（3学年用）教科				理科	科目	物理基礎演習
教科：	理科	科目：	物理基礎演習	単位数：	2	単位
対象学年組：第 3 学年 E・F組						
使用教科書：（ 物基710「高等学校 新物理基礎」第一学習社 ）						

教科	理科	の目標：
【知識及び技能】		自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】		自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究する力を身に付ける。
【学びに向かう力、人間性等】		自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を身に付ける。

科目	物理基礎演習	の目標：
【知識及び技能】		自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。
【思考力、判断力、表現力等】		自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。
【学びに向かう力、人間性等】		自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1節 物体の運動 ・物体の変位や速度などの表し方について、直線運動を中心に理解する。 ・直線上を運動している物体の合成速度や相対速度を考えることができる。 ・物体の加速度を理解し、等加速度直線運動について式やグラフで考えることができる。 ・体が空中を落下するときの運動を調べ、その特徴を理解する。 ・自由落下や鉛直投射について、式やグラフを用いて考えることができる。	第1節 物体の運動 ①速さ ②等速直線運動 ③変位と速度 ④速度の合成・相対速度 ⑤加速度 ⑥等加速度直線運動(1) ⑦等加速度直線運動(2) 探究1 加速度運動とグラフ ⑧重力加速度と自由落下 ⑨鉛直投射 ⑩水平投射 探究2 自由落下の加速度	【知識・技能】 ・記録タイマーの使い方を理解し、得られた打点結果から加速度を求めることができる。 ・落下する物体の運動は、鉛直下向きの加速度をもつ等加速度運動であることを理解する。 【思考・判断・表現】 ・日常の現象について、合成速度や相対速度を考えることができる。 ・落下運動の特徴を理解し、式やグラフを用いて表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・速度が変化する日常での事象について意欲的に考え、加速度とはどのような物理量であるかを考察しようとする。 ・物体が落下するときのようすなどに関心を持ち、それらの現象を物理的に考えようとする。	○	○	○	9
	第2節 力と運動の法則 ・物体にさまざまな力がはたらくことを理解する。 ・物体にはたらく力の合成・分解をベクトルを用いて扱い、つりあいについて理解を深める。 ・作用・反作用の法則を扱い、つりあう2力との違いを理解する。	第2節 力と運動の法則 ①力と質量 ②いろいろな力 ③力の合成・分解と成分 ④力のつりあい ⑤作用・反作用の法則 ⑥慣性の法則	【知識・技能】 ・ベクトルを踏まえ、力の合成・分解・成分を理解する。 ・作用・反作用とつりあう2力とを区別することができる。 【思考・判断・表現】 ・力のベクトルの性質を踏まえ、つりあいの式を考えることができる。 ・つりあう2力と作用・反作用の2力の違いを説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日常での経験と照らし合わせて力のはたらきを観察し、物理学的に理解しようとする。 ・力のつりあいや作用・反作用の法則を確認する実験などに意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	11
	1学期中間考査			○	○		1
	・運動の3法則について、観察や実験を通して理解する。 ・運動方程式の立て方について学習し、さまざまな運動状態における運動方程式の立て方を理解する。 ・摩擦力の特徴を理解し、それを含めた運動について理解する。 ・水圧と浮力の関係について理解する。 第3節 仕事と力学的エネルギー ・仕事、仕事の原理、仕事率を学習し、物理における「仕事」について理解する。	⑦力と質量と加速度の関係(1) ⑧力と質量と加速度の関係(1) ⑨運動の法則 ⑩摩擦力 ⑪流体から受ける力 第3節 仕事と力学的エネルギー ①力がする仕事 ②仕事の原理と仕事率	【知識・技能】 ・さまざまな運動状態における物体について、運動方程式を立てることができる。 ・物体が受ける水圧や浮力の大きさを計算できる。 ・物理における仕事、仕事率を計算することができる。 【思考・判断・表現】 ・実験データを分析しながら、力と加速度の関係、質量と加速度の関係を考えることができる。 ・浮力が生じるしくみを理解する。 ・力のする仕事が正、負、0になる場合のそれぞれについて説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・力と質量と加速度の間にどのような関係があるかを予想し、主体的に実験に取り組んでいる。 ・摩擦力や浮力など、さまざまな力を含めた物体の運動について、物理学的に理解しようとしている。 ・日常における仕事との違いに留意し、物理における仕事について理解しようとする。	○	○	○	8

	・運動エネルギーと仕事の関係について，式を用いて理解する。 ・位置エネルギーについて，仕事と関連づけて理解する。 ・力学的エネルギーの保存について実験などを通して学習し，法則が成り立つ条件とともに理解する。 第Ⅱ章 熱 第1節 熱とエネルギー ・熱運動，セルシウス温度，絶対温度を学習し，温度について理解する。	③運動エネルギー ④重力による位置エネルギー ⑤弾性力による位置エネルギー ⑥力学的エネルギー(1) ⑦力学的エネルギー(2) 第Ⅱ章 熱 第1節 熱とエネルギー ①温度と熱運動	【知識・技能】 ・落下運動などについて，力学的エネルギーが保存されることを，式で導くことができる。 【思考・判断・表現】 ・種々の物体の運動について，力学的エネルギー保存の法則を適用することができる。 ・力学的エネルギーが保存されない場合の運動も考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・運動エネルギーと位置エネルギーの両者から，エネルギーについて成り立つ関係を主体的に導出しようとする。 ・力学的エネルギー保存の法則に関連させ，振り子の速さの測定などの実験に積極的に取り組んでいる。	○	○	○	7
	1学期期末考査			○	○		1
2 学 期	・熱と熱量を学習したのち，熱平衡，比熱，熱容量，熱量の保存について理解する。 ・熱量の保存を利用し，物質の比熱を測定する。 ・物質の三態について熱運動と関連づけて理解し，熱膨張の現象を知る。 ・熱と仕事が同等であることを学習し，内部エネルギー，熱力学の第1法則を理解する。 ・熱機関と熱効率を学習し，可逆変化と不可逆変化について理解する。 ・さまざまなエネルギーの移り変わりを学習したのち，エネルギーの保存について理解する。 第Ⅲ章波動 第1節 波の性質 ・波の伝わり方について理解し，振動数と周期の関係を学習する。	②熱と熱平衡 ③熱量の保存 探究3 比熱の測定 ④物質の三態 ⑤熱と仕事 ⑥エネルギーの変換と保存 第Ⅲ章波動 第1節 波の性質 ①波と振動	【知識・技能】 ・熱量計などを利用する熱量の保存に関する実験について，正しい実験操作を実行できる。 ・熱力学の第1法則を用いて，内部エネルギーの変化，外部とやりとりする仕事，熱を計算することができる。 【思考・判断・表現】 ・比熱と熱容量の違いを理解し，熱量の保存を利用して比熱などの測定をすることができる。 ・エネルギーの利用例について，日常のさまざまな事象や現象と結びつけて理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・熱と仕事の関係について，日常における現象と結びつけて考えようとする。 ・エネルギーとその移り変わりについて，日常での利用例と関連させて理解しようとする。	○	○	○	6
	2学期中間考査			○	○		1
	・正弦波と波，振幅，波長，周期，振動数など，波の基本的な要素について理解する。 ・一定の時間経過によって移動した波について，波形を作図できるようにする。 ・横波，縦波の特徴や，縦波の横波表示について理解する。 ・波動実験器を用いた観察などを通して，重ねあわせの原理と波の独立性について理解する。 ・重なりあった波の作図などを通して，定常波が生じるしくみを理解する。 ・パルス波の反射，正弦波の反射について，反射の仕方，反射波と合成波の作図の仕方を理解する。 第2節 音波 ・音波の伝わり方を学習し，空気中における音速と温度の関係を理解する。 ・音の3要素(音の高さ，大きさ，音色)について，音波の波形の特徴を理解する。 ・身近な現象と関連させ，音の反射について理解する。 ・うなりが生じるしくみを理解し，うなりの回数を計算することができる。 ・共振，共鳴の現象について理解する。 ・弦に生じる振動の特徴を学習し，波の波長，振動数の関係を式を用いて理解する。 ・気柱に生じる振動の特徴を学習し，波の波長，振動数の関係を式を用いて理解する。	②波の表し方 ③横波と縦波 ④波の重ねあわせ ⑤定常波 ⑥波の反射 第2節 音波 ①音の速さと3要素 ②波としての音の性質 ③弦の固有振動 ④気柱の固有振動 探究4 弦の固有振動 探究5 気柱の共鳴	【知識・技能】 ・単振動の特徴を学習し，振動数と周期の関係を理解する。 ・弦に生じる定常波の波長や振動数を式で計算することができる。 ・気柱が振動するときの定常波の波長や振動数を式で計算することができる。 【思考・判断・表現】 ・波源の振動の仕方によってどのような波形の波ができるのかを表すことができる。 ・たこ糸を用いた弦の固有振動に関する探究などを通じて，弦の固有振動数が張力と線密度とどのような関係にあるのかを考察できる。 ・気柱共鳴装置を用いた探究などを通じて，おんさの振動数を測定することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・一定時間の経過によって進んだ波の作図を，自らの力で描こうと努力している。 ・ギターやトランペットなど，楽器から出る音のしくみなどに関心をもち，意欲的に学習に取り組んでいる。	○	○	○	10
2学期末考査				○	○		1

3 学期	第Ⅳ章電気 第1節 電荷と電流 ・静電気の現象を学習し、帯電のしくみについて理解する。 ・電流や電圧とは何かを学習し、オームの法則について理解する。 ・ニクロム線などの物質の抵抗と形状の関係について測定し、抵抗率を導入する。 ・抵抗の直列接続，並列接続における特徴を踏まえ，合成抵抗を理解する。 ・ジュールの法則を扱い，電力量と電力について理解する。 ・電気回路の実験において，電流計と電圧計の接続の仕方を理解する。 第2節 電流と磁場 ・電流がつくる磁場について理解する。 ・モーターが回転するしくみ，発電機で電気が生じるしくみを理解する。 ・直流と交流の違いを知り，交流の性質を踏まえ，変圧器や送電について理解する。 ・電磁波の発生，電磁波の分類について理解する。	第Ⅳ章電気 第1節 電荷と電流 ①電荷 ②電流と電気抵抗 ③物質と抵抗率 ④抵抗の接続 ⑤電力量と電力 探究6 ジュール熱の測定 第2節 電流と磁場 ①磁場 ②モーターと発電機 ③交流の発生と利用 ④電磁波	【知識・技能】 ・ジュール熱，電力量や電力を計算することができる。 ・電流が磁場から受ける力の特徴，電磁誘導の特徴を知る。 ・変圧器における巻数と電圧の関係や，電力輸送における損失の大きさを計算できる。 【思考・判断・表現】 ・消費電力と使用時間から，電力量を考えることができる。 ・電磁誘導の特徴を踏まえ，発電機のしくみを理解する。 ・電力輸送におけるしくみを理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ジュール熱について身のまわりの製品と結びつけて理解しようとする。 ・家庭での電気の使用と関連させて，交流の特徴や送電について考えている。	○	○	○	12
	第3節 エネルギーとその利用 ・太陽エネルギーと化石燃料の特徴について学習し，エネルギーの流れや問題点などを理解する。 ・放射線の種類とその性質を学習し，原子力発電についてのメリットとデメリットを知る。	第3節 エネルギーとその利用 ①太陽エネルギーの利用 ②原子核と放射線 ③原子力とその利用 探究7 発電電力量の推移	【知識・技能】 ・原子力発電の基本的なしくみを理解し，どのような課題があるかを知る。 【思考・判断・表現】 ・放射線の種類とその性質を説明することができる。 ・原子力発電のメリット，デメリットを説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・放射線や原子力の利用について，意欲的に学習しようとする。				3
							合計
							70

高等学校 令和6年度（3学年用）

教科

理科

科目

発展物理

教科：理科

科目：発展物理

単位数：3 単位

対象学年組：第3学年 E・F組

使用教科書：（ 物理709「高等学校 物理」 第一学習社 ）

教科 理科

の目標：

【知識及び技能】

自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】

自然の事物・現象から問題を見いだし，見通しをもって観察，実験などを行い，得られた結果を分析して解釈し，表現するなど，科学的に探究する力を身につける。

【学びに向かう力、人間性等】

自然の事物・現象に主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとする態度を身に付ける。

科目 発展物理	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
自然の事物・現象についての理解を深め，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する技能を身に付けている。	自然の事物・現象の中に問題を見いだし，見通しをもって観察，実験などを行い，科学的に探究する力を身に付けている。
【学びに向かう力、人間性等】	自然の事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・電荷や帯電，電気量保存の法則などを学習し，静電気力について定量的に理解する。 ・導体，不導体，半導体を区別し，静電誘導，誘電分極のしくみを理解する。 ・電場の基本的な性質を学習し，電場と電気力線の関係，一様な電場について理解する。 ・電位の基本的な性質を学習し，等電位面と電気力線の関係について理解する。 ・コンデンサーの原理を学習し，平行板コンデンサーの電気容量，誘電体，誘電率について理解する。 ・コンデンサーを接続したときの合成容量，静電エネルギーについて理解する。	第Ⅲ章 電気と磁気 第1節 電場と電位 ①静電気力 ②電場 ③電位 探究8 等電位線と電気力線 ④コンデンサー	【知識・技能】 ・静電気力に関するクーロンの法則を理解し，さまざまな条件で電場の強さを計算できる。 ・コンデンサーにおける基本的な公式を理解し，さまざまな条件における電気容量やたくわえられる電荷を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・静電誘導，誘電分極のしくみを説明することができる。 ・コンデンサーにたくわえられる電気量と，極板の面積，極板間の距離との関係を導くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・電場や電位の関係，等電位面と電気力線の関係，静電誘導，誘電分極の現象などを自ら進んで理解しようとする。 ・コンデンサーの製作に主体的に取り組み，コンデンサーの原理や，誘電体によって変化するコンデンサーの電気容量などについて，自ら進んで考えようとしている。	○	○	○	15
	1学期中間考査			○	○		1
	・電子の運動をもとにした，オームの法則の導出過程を理解する。 ・電流計，電圧計，電池の内部抵抗について理解し，さまざまな回路において，キルヒホッフの第1，2法則を適用する。 ・ホイートストンブリッジや電位差計のしくみを学習し，非直線抵抗やコンデンサーを含む回路について理解する。 ・半導体の性質を学習し，ダイオードや太陽電池のしくみについて理解する。	第2節 電流 ①電流と抵抗 ②直流回路 探究9 電池の起電力と内部抵抗 ③半導体	【知識・技能】 ・キルヒホッフの法則をもとに，ホイートストンブリッジや電位差計の回路のしくみを理解する。 ・非直線抵抗を含む回路での電流，電圧の関係をグラフから読み取り，理解する。 【思考・判断・表現】 ・キルヒホッフの法則を理解し，さまざまな回路での電流，電圧を考えることができる。 ・すべり抵抗器と乾電池を用いた探究などを通して，電池の起電力と内部抵抗を測定できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・各回路に対して，キルヒホッフの法則の適用方法を導こうとしている。 ・身のまわりで使用されている半導体に興味をもち，ダイオードや太陽電池における，電子の運動を考えようとしている。	○	○	○	12
	・磁気力に関するクーロンの法則を学習し，電流がつくる磁場の強さと磁力線の概形について理解する。	第3節 電流と磁場 ①磁場 ②電流がつくる磁場	【知識・技能】 ・磁極間にはたらく磁気力の大きさ，電流のまわりに生じる磁場の強さを計算できる。 【思考・判断・表現】 ・磁極や電流のまわりにできる磁場について，右ねじの法則をもとにして考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・電場との対比から，磁場の性質を学習し，「物理基礎」で学習した内容を踏まえ，電流のまわりにできる磁場について意欲的に考える。	○	○	○	6

	1学期期末考査			○	○		1
2学期	・磁場中で電流が受ける力について、フレミングの左手の法則や右ねじの関係をを用いて定量的に理解する。 ・磁束密度と磁場との関係、磁化の性質を理解し、平行電流間にはたらく力を定量的に理解する。 ・ローレンツ力について学習し、磁場中に入射した粒子の運動を理解する。 ・ローレンツ力を踏まえて、電子の運動に着目し、ホール効果のしくみを理解する。	③電流が磁場から受ける力 ④ローレンツ力	【知識・技能】 ・磁場中で電流が受ける力の大きさを求めることができる。 ・荷電粒子にはたらくローレンツ力の大きさや向きを理解する。 【思考・判断・表現】 ・電気ブランコの観察において、電流が磁場から受ける力の向きを調べることができる。 ・ローレンツ力の性質をもとに、荷電粒子の運動を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・電流が磁場から受ける力の向きや大きさ、磁束密度や磁場の関係を意欲的に理解しようとする。 ・磁場中の荷電粒子の運動について意欲的に考察しようとする。	○	○	○	8
	・ファラデーの電磁誘導の法則を学習し、磁場中を動く導体に生じる起電力や、導体を動かすのに要する力や仕事の関係を理解する。 ・磁場中を動く導体に生じる起電力や、導体を動かすのに要する力、仕事の関係を理解する。 ・自己誘導、相互誘導の現象を理解し、生じる起電力を計算する。 ・交流の発生のしくみを理解し、交流回路における抵抗、コイル、コンデンサの特性を理解する。 ・電気振動の現象をエネルギーの観点から把握し、固有振動数の式を理解する。 ・変圧器のしくみを理解する。 ・磁場と電場の関係、電磁波の性質や種類を学習し、電磁波がその波長に応じてさまざまなものに利用されていることを理解する。	第4節 電磁誘導と交流 ①電磁誘導 ②自己誘導と相互誘導 ③交流 ④電磁波 探究10 ゲルマニウムラジオの製作	【知識・技能】 ・磁場中を動く導体に生じる起電力や、導体を動かすのに要する力を計算することができる。 ・電磁誘導のしくみを理解し、自己誘導、相互誘導での起電力の向きや大きさを導くことができる。 ・電気振動のエネルギーの移り変わりについて、式で表すことができる。 【思考・判断・表現】 ・コイルに棒磁石を近づけたり、遠ざけたりする実験の結果から、ファラデーの電磁誘導の法則を見出して理解する。 ・抵抗、コイルなどに生じる交流電圧、電流の関係を、キルヒホッフの法則を用いて考えることができる。 ・電気振動において、固有振動数やエネルギーのやりとりを考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自己誘導や相互誘導の現象の学習に意欲的に取り組む。 ・交流が発生するしくみに関心をもち、抵抗、コイル、コンデンサの特性を考えようとする。 ・直列共振回路の性質や電気振動の現象を意欲的に理解しようとする。	○	○	○	20
	2学期中間考査			○	○		1
	・電子の発見からその性質が解明されるまでの歴史的な背景において、トムソンやミリカンの実験について理解する。 ・光電効果とその特徴を学習し、光電子の運動エネルギーと仕事関数との関係を定量的に理解する。 ・光子を用いたアインシュタインの考えによって、光電効果が説明できることを理解する。 ・X線の発生とその原理を学習し、特性X線や連続X線、最短波長などについて理解する。 ・ラウエやブラッグの実験を学習し、エネルギー保存の法則や、運動量保存の法則を用いて、コンプトン効果を定量的に理解する。 ・物質波について学習し、弱い光源によるヤングの実験をもとに、粒子と波動の二重性を理解する。	第IV章 原子 第1節 電子と光 ①電子 ②光の粒子性 探究11 プランク定数の測定 ③X線 ④粒子の波動性	【知識・技能】 ・電子の性質が解明されるまでの研究について、定量的に理解する。 ・光電効果の特徴やその実験過程を理解し、仕事関数や光電子の最大運動エネルギーを計算できる。 ・コンプトン効果において、入射X線と散乱X線の波長の差を示す式を導出できる。 【思考・判断・表現】 ・トムソンやミリカンの実験について、電場や磁場の関係式を適用し、電子の運動を説明できる。 ・光電効果の実験結果を、アインシュタインの提唱した光子仮説から説明できる。 ・X線の波動性や粒子性を示す実験を理解し、結論を導くまでの過程を式を用いて考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・これまでに学習した荷電粒子の運動をもとに、トムソンやミリカンの実験のしくみを考え、式を用いて理解しようとしている。 ・光電効果の特徴について、その実験過程から意欲的に意味を理解しようとする。	○	○	○	21

			・光やX線がもつ粒子性を，電子のような粒子の波動性に結びつけて考えようとする。				
	2学期期末考査			○	○		1
3 学 期	・これまでに提唱された原子模型と，各模型の特徴を理解する。 ・ラザフォードの原子模型の難点を把握し，ボーアの水素原子模型の特徴を理解する。 ・水素原子における電子の軌道半径やエネルギー準位について，式を用いて理解する。 ・放射性崩壊における特徴と原子核の安定性について理解する。 ・核反応について学習し，反応の際に放出，吸収されるエネルギーを理解する。 ・素粒子に関する研究の歴史を踏まえ，クォークとレプトン，自然界の基本的な力を学習して，素粒子の研究と宇宙の進化の解明を結びつけて理解する。	第2節 原子と原子核 ①原子の構造 ②原子核と放射線 探究12 放射性物質とその半減期 ③核反応とエネルギー ④素粒子と宇宙	【知識・技能】 ・ボーアの原子模型の特徴を理解し，水素原子の電子軌道や，エネルギー準位とスペクトルとの関係について理解する。 ・質量欠損や結合エネルギー，核反応で出入りするエネルギーをそれぞれ計算で求めることができる。 ・素粒子の分類を理解し，クォークやレプトンの特徴を把握する。 【思考・判断・表現】 ・ボーアの量子条件と物質波による考え方との関係を結びつけて考える。 ・質量とエネルギーの等価性を理解し，核反応によるエネルギーの吸収・放出の関係を考えることができる。 ・素粒子の性質を踏まえて，それらを系統的に分類する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・原子の構造を解明しようとする歴史的な背景に関心を示し，理解しようとしている。 ・ボーアの原子模型に関心をもち，水素原子のスペクトルを考えようとする。 ・素粒子の研究と宇宙の進化の解明とのつながりに関心をもち，意欲的に理解しようとしている。	○	○	○	19
							合計
							105

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科

理科

科目 生物

教 科： 理科 科 目： 生物

単位数： 4 単位

対象学年組：第 3 学年 選択者

使用教科書：（ ）

教科 理科 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】 自然の事物・現象に対する科学的な知識を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 観察・実験などを行い、科学的に探求する能力を身に付ける。
- 【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に対する関心を高める。

科目 生物 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・生物や生物現象について、それらの基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な自然観を身につけている。 ・自然界のさまざまな事象を科学的に考察する能力と、豊かな科学的素養を身につけている。 ・生物学的な方法で生物や生物現象に関する問題を取り扱い、観察・実験の技能を習得している。	・生物学的な方法で生物や生物現象に関する問題を取り扱い、自然を科学的にとらえられる。 ・生物現象について探究する場合に、それらを個々のレベルで分析すると同時に、全体を総合的にとらえ、表現することができる。 ・科学的に探究する方法を身につけるための過程	・生物や生物現象を通して自然に対する関心や探究心をもち、基本的な概念や原理・法則を理解する意欲とともに、科学的な自然観や生物学的に探究する能力と態度を身につけようとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	1 章 生物の進化 【知識及び技能】 ・生命の誕生に関する仮説について理解している。 ・歴史的な進化説と現在の進化説の基本的な発想の視点を踏まえ、底流にある基本概念を把握している。 ・現在では系統に基づく視点からの分類法が最も妥当性があるものとして承認されているという事実を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・地質時代における生物の変遷を、化石とともに考察し、環境の変化との関連を探究できる。また、霊長類現生種との形態比較から人類の進化を考察し、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現生種についての比較形態、比較発生、生物分布などの資料から進化の証拠を理解し、進化説の理解を深めようとする。 ・生物分類の必要性を理解し、その歴史的な大分類の視点がどこに置かれていたのかを把握しようとする。 ・現在の生物分類と系統を理解しようとする。	指導事項 ・進化説については代表的なものを中心に扱う。 ・生物の分類については、分類の基準を理解する上で必要な程度にとどめ、各分類群の羅列的な扱いはしない。 ・生物の系統については、多様な生物が存在することについて、それらの系統関係を探究的に考察する過程を重視して扱う。 教材 セミナー生物等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・実際に確認できない長大なスケールの時間に対しても、対比をすることで概要を把握できる。 ・生命の誕生に関する仮説について理解している。 ・歴史的な進化説と現在の進化説の基本的な発想の視点を踏まえ、底流にある基本概念を把握している。 ・現在の生物分類と系統を理解している。 ・現在では系統に基づく視点からの分類法が最も妥当性があるものとして承認されているという事実を理解している。 【思考・判断・表現】 DNAの塩基配列に生じる突然変異が、生物の形質にどのような変化をもたらすかを見いだしている。遺伝子が分配されるしくみである減数分裂について理解し、遺伝子の変化がどのように子に伝わるかを考察できる。 霊長類現生種との形態比較から人類の進化を考察し、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現生種についての比較形態、比較発生、生物分布などの資料から進化の証拠を理解し、進化説の理解を深めようとする。 ・生物分類の必要性を理解し、その歴史的な大分類の視点がどこに置かれていたのかを把握しようとする。	○	○	○	28
	定期考査			○	○		1
	2 章 生物の現象と物質 【知識及び技能】 ・タンパク質の基本的な構造・性質についての学習を手がかりとして、酵素作用や免疫現象・筋収縮などが、タンパク質の特異性や多様性に基づいて展開されていることを理解している。 ・エネルギーの利用に際して、ATPがエネルギーの通貨として働いていることを理解している。 ・生命活動に必要なエネルギーを、呼吸や光合成からとり出すしくみを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生物体にみられる様々な働きが、酵素による触媒作用をはじめとした、タンパク質の多様性および特異性に基づいていることを科学的に考察できる。 ・バイオテクノロジーの発達が人類の生活を豊かにする可能性があることを理解するとともに、そのマイナス面についても目を向け、考察し、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・分子レベルでの生物現象の把握を主な目的として、タンパク質や核酸などの有機化合物の多様な働きが生物現象の基本になっていることを理解しようとする。	指導事項 ・細胞を構成する主な物質は、脂質を中心に扱う。 ・酵素の特質が主成分であるタンパク質の構造や性質に基づくものであることを平易に扱う。 ・細胞間情報伝達などについては、タンパク質の機能の観点から平易に扱う。 ・同化と異化の例として光合成や呼吸などのしくみを扱うが、反応系の物質の羅列的扱いはしない。 ・生命現象を分子レベルで捉えるために必要な最小限の化学の知識(酸化還元など)にも触れること。 ・教材 セミナー生物等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・生体膜の構造に関する学習を手がかりとし、細胞あるいは細胞小器官が生体膜によって独自の密閉空間をつくり、細胞内外の物質輸送を行っていることを理解している。 ・細胞の形の維持には、細胞壁などの炭水化物や、微小管やフィラメントなどのタンパク質が関与していることを理解している。 ・タンパク質の基本的な構造・性質について理解している。 ・タンパク質の構造・性質についての学習を手がかりとして、酵素作用、物質の輸送や情報伝達などが、タンパク質の特異性や多様性に基づいて展開されていることを理解している。 ・エネルギーの利用に際して、ATPがエネルギーの通貨として働いていることを理解している。 ・生命活動に必要なエネルギーを、呼吸や光合成からとり出すしくみを理解している。 【思考・判断・表現】 ・酵素に関する実験を行い、生命現象に酵素の働きが関わっていることに気付くことができる。実験から、酵素には最適温度や最適pHがあることを考察することができる。 ・生物体にみられるさまざまな働きが、酵素による触媒作用をはじめとした、タンパク質の多様性および特異性に基づいていることを科学的に考察	○	○	○	28

	・生命活動に必要なエネルギーを,呼吸や光合成から得ていることを理解しようとする。 ・DNAが遺伝子として働くしくみや, RNAがタンパク質合成に関与しているしくみを理解しようとする。		できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・分子レベルでの生物現象の把握を主な目的として, タンパク質や核酸などの有機化合物の多様な働きが生物現象の基本になっていることを理解しようとする。 ・生命活動に必要なエネルギーを,呼吸や光合成から得ていることを理解しようとする。	○	○		20
	定期考查			○	○		1
2 学 期	3 章 遺伝情報とその発現 【知識及び技能】 - 動物の配偶子のでき方を理解している。 - 発生のしくみについては, 結果としてわかっていることを覚えているだけでなく, 実験によって, そのしくみが次第に明らかになってきた過程を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 - 生殖細胞がつくられる過程と意義を科学的に考察できる。 - 受精については, 生殖細胞の合体により染色体数が復元し, 新しい体細胞のもとができる過程として理解しようとする。 - 発生の過程が, ヒトをはじめとした多くの生物に共通するものであることを実証的・論理的に分析し, 総合的に考察し, 表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 - 動物の発生とそのしくみについては, ヒトとの共通点のあるカエルについて学習し, 形態形成運動や誘導などの働きによって複雑なからだのつくりができあがっていく過程を理解しようとする。 - 発生のしくみについては, 誘導現象など代表的な例について理解させ, 実験によってそのしくみが次第に明らかになってきた過程に重点をおいて探究的に考察させる。	指導事項 - DNA・RNAの分子構造については, 模式的に示す程度にとどめる。 - 遺伝情報, 遺伝子の複製, タンパク質の合成などは, 核酸の構造に基づいて平易に扱う。 - 原核細胞と真核細胞のあいだには染色体の構造や伝令RNAの生成過程などに違いがあることにも触れる。 - 形質発現については, 転写レベルの調節のしくみにも触れるが, 形質発現の調節, 細胞の分化や形態形成のしくみについては初歩的事項にとどめる。 - 発生のしくみについては, 必要に応じて分子レベルの扱いも行う。 - バイオテクノロジーについては, 遺伝子操作などの例を平易に扱う。 ・教材 セミナー生物等 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 - メセルソンとスタールの実験結果とともに, 半保存的複製のしくみを理解している。 - DNAが遺伝子として働くしくみや, RNAがタンパク質合成に関与しているしくみを理解している。 - 動物の配偶子形成, 受精膜の形成のしくみを理解している。 - 動物の発生とそのしくみについては, ヒトとの共通点のあるカエルについて学習し, 形態形成運動や誘導などの働きによって複雑なからだのつくりができあがっていく過程を理解している。 - 誘導のしくみを理解し, 動物の器官が連鎖的に形成されていくことを理解している。 - 電気泳動の原理を理解し, 実験によって, 設定したDNA断片の長さに応じた適切な泳動結果を得ることができる。 バイオテクノロジーの医療・農業等への応用されている事例や方法を理解している。 【思考・判断・表現】 - X-galを用いた大腸菌の培養実験をもとに, 遺伝子発現がどのように調節されているのかを見いだそうとし, 自分なりの考えを出すことができる。 - 遺伝子の発現調節のしくみについて, 調節遺伝子やプロモーター, 転写調節領域などの語句を用いて, 一連の流れを説明することができる。 - ショウジョウバエの頭尾軸決定に関する実験結果をもとに, 動物の発生において, 軸の形成には卵に蓄積された母性因子が関与していることを理解している。 - バイオテクノロジーの発達が人類の生活を豊かにする可能性があることを理解するとともに, そのマイナス面についても目を向け, 考察し, 表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 バイオテクノロジーについて関心をもち, 生活にどのように役立っているのかを知ろうとする。	○	○	○	28
	定期考查			○	○		1
	4 章 生物の環境応答 【知識及び技能】 - 神経の構造と興奮の発生・伝導・伝達の関係の学習から, 動物が能動的に外部環境に反応することを理解している。 - 脳などの中枢神経系の働きを学習したことで, 脊つい動物のからだが巧妙に調節されていることを理解し, 知識を身につけている。 - 植物が外部の環境に影響されてみせるさまざまな現象を, 屈性などの伸長成長や, 発芽, 花芽形成などの器官分化などの学習を通じて身につけている。 - 植物の場合は, 植物ホルモンの働きなどによって, 環境に対する反応や調節が行われることを具体的に理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 - 各受容器の構造と機能との関係, 興奮の伝導や伝達	指導事項 余裕があれば, 活動電位が発生し, 伝わるしくみについてイオンベースでの解説も行う。 ・教材 セミナー生物等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 - 神経の構造と興奮の発生・伝導・伝達関係の学習から, 動物が能動的に外部環境に反応することを理解している。 - 脳などの中枢神経系の働きを理解し, 脊つい動物のからだ				

	導や伝達のしくみ、興奮の伝達における伝達経路について、整理して述べるができる。 ・骨格筋が収縮するしくみを理解し、筋収縮に必要なエネルギーがどのように供給されるのかについて考察できる。 ・学習による行動の発達と神経系の発達との関係を説明することができる。 ・伸長成長や、発芽、器官分化などの現象が巧妙に制御されていること、それらがさまざまな実験によって明らかにされてきたことを理解し、科学的に判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・動物は環境の変化を受容する受容器をもつとともに、神経系など生物体のもつ巧みな制御機構や調節のしくみによって、安定した内部環境を維持していることを意欲的に理解し、探究しようとする。 ・動物の行動は、刺激の受容にはじまる一連のしくみによって成立していることを関心をもって理解しようとする。 ・植物の反応や調節が植物ホルモンによって行われていることを理解し、身につけようとする。		・植物の場合には、植物ホルモンの働きなどによって、環境に対する反応や調節が行われることを具体的に理解している。 ・植物の生殖細胞がつくられる過程を理解している。 代表的な植物である被子植物などについて、配偶子のでき方を理解している。また、種子の形成に関連させて胚の発生の過程も理解している。 【思考・判断・表現】 ・眼を中心とした受容器の構造と機能に関心をもって学習し、光量調節や遠近調節などのしくみを説明できる。 ・骨格筋が収縮するしくみを理解し、筋収縮に必要なエネルギーがどのように供給されるのかについて考察できる。 ・学習による行動の発達と神経系の発達との関係を説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・植物の反応や調節が植物ホルモンによって行われていることを理解し、身につけようとする。	○	○	○	24
	定期考査			○	○		1
3 学 期	第5章 生態と環境 【知識及び技能】 ・生物の集団を個体群としてとらえ、そこにみられる現象や法則性を理解している。 ・生態系の構造や働きと、その平衡のしくみを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生物の生活は環境と深い関わりをもっていることを、身近な現象についてとり上げながら、すでに学習した知識を活用して考えようとする。 ・異なる2種の個体群間の関係、さらに、より多くの個体群から形成されている生物群集の構造や働きとその変動を明らかにできる。 ・生態系の構造や働きを、物質循環・エネルギーの流れの観点から考察し、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・生物は生物集団として、無機的环境やほかの生物集団とのあいだでさまざまな関係をもちながら生活していることを理解することによって、環境と生物の関係を総合的にとらえようとする。 ・それまでに学習した内容から、人類の活動と自然破壊の関連性について考察し、自然保護・環境保全の意義を実感として理解しようとするとともに、主体的に行動できるような意識をもつ。	指導事項 ・個体群の成長の様式や個体群が様々な環境に適応して維持されるしくみなどについては基本的な事項を中心に平易に扱う。 ・食物網や物質循環・エネルギーの流れなどについては代表的な例を通して扱う。 ・教材 セミナー生物等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・異なる2種の個体群間の関係、さらに、より多くの個体群から形成されている生物群集の構造や働きとその変動を理解している。 ・生態系の構造や働きを、物質循環・エネルギーの流れの観点から考察し、表現することができる。 ・生態系の構造や働きと、その平衡のしくみを理解している。 ・窒素循環については、植物の窒素同化のしくみもあわせて理解している。また、脱窒や植物と根粒菌との共生についても理解して 【思考・判断・表現】 ・ウキクサを用いた実験から、個体群がどのように成長するかを理解することができる。また、個体群の密度の変化が、個体数や個体の形質に影響を及ぼすことを理解している。 ・2種の生物の個体数変動のグラフから、被食者と捕食者の個体数が周期的に変動することを見いだして理解することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・生物の生活は環境と深い関わりをもっていることを、身近な現象についてとり上げながら、すでに学習した知識を活用して考えようとする。 ・それまでに学習した内容から、人類の活動と自然破壊の関連性について考察し、自然保護・環境保全の意義を実感として理解しようとするとともに、主体的に行動できるような意識をもつ。	○	○	○	28
							合計
							140

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科		理科	科目	生物基礎演習
教 科：	理科	科 目：	生物基礎演習	単位数： 2 単位
対象学年組：第 3 学年				
使用教科書：				
教科	理科	の目標：		
【知 識 及 び 技 能】		自然の事物・現象やその法則性を理解し、科学的に探究するための実験等の基本操作を身に付ける。		
【思考力、判断力、表現力等】		自然の事物・現象から問題を見出し、見通しをもって実験を行い、科学的に分析し表現する力を身に付ける。		
【学びに向かう力、人間性等】		自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。		
科目		の目標：		

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象についての観察、実験などを行うことをとおして、生物や生物現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。	生物や生物現象を対象に、探究の過程を通して、問題を見いだすための観察、情報の収集、仮説の設定、実験の計画、実験による検証、調査、データの分析・解釈、推論などの探究の方法が習得できている。また、報告書を作成したり発表したりして、科学的に探究している。	生物や生物現象に対して主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度など、科学的に探究しようとしている。その際、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	3節 生態系と生物の多様性 4節 生態系のバランスと保全 【知識及び技能】 生態系と生物の多様性に関する観察、実験などを行い、生態系における生物の種多様性を見いだして理解する。また、生物の種多様性と生物間の関係性とは関連付けて理解する。 生態系のバランスに関する資料に基づいて、生態系のバランスと人為的攪乱を関連付けて理解する。また、生態系の保全の重要性を認識する。 【思考力、判断力、表現力等】 生物の多様性と生態系について、観察、実験などを通して探究し、生態系における、生物の多様性及び生物と環境との関係性を見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を身に付ける。	・生態系における生物の種多様性について理解させる。 ・生物の種多様性と生物間の関係性とは関連付けて理解させる。 ・捕食によって物質とエネルギーが移動するを理解させる。 ・生態系のバランスと、人為的攪乱によりそのバランスが崩れる場合があることを理解させる。 ・生態系の保全の重要性について認識させる。 ・自然環境の保全に寄与する態度を育てる。 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・生態系内における種多様性、生物どうしのかかわりあいについて理解している。 ・生態系のバランスや、生態系の保全の重要性について理解している。 ・野外で行う調査・実験の方法を習得している。 ・インターネットや文献などを用いて、調査する方法を習得している。 【思考・判断・表現】 ・生態系と生物の多様性に関する観察、実験などから、生態系における生物の種多様性を見いだすことができている。 ・生態系の保全の重要性について、生物の多様性の視点から考察することができる。 ・世界の環境問題について、情報を調査し、自分の考えをまとめ、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・生物が多様であることを、食物網や間接効果と関連付けて説明できている。 ・生態系のバランスや、生態系を保全するが重要であることを理解しようとしている。	○	○	○	7
	定期考查			○	○		1
	第1章 生物の特徴 1節 生物の多様性と共通性 【知識及び技能】 様々な生物の比較に基づいて、生物は多様でありながら共通性をもっていることを見いだして理解する。また、生物の共通性と起源の共有を関連付けて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 生物の特徴について、観察、実験などを通して探究し、多様な生物がもつ共通の特徴を見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 生物や生物現象に主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し科学的に探究し、解決する。	・さまざまな生物の比較に基づいて、生物は多様でありながら共通性をもっていることを見出して理解させる。 ・生物が共通性を保ちながら進化し多様化したこと、共通性は起源の共有に由来するを理解させる。 ・生物に共通する性質は細胞であることを理解させる。また、細胞にも原核細胞と真核細胞があることを細胞の内部構造とともに理解させる。 ・顕微鏡、ミクロメータの使い方 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・生物の共通性と多様性について、すべての生物で細胞が共通の構造であることを理解している。 ・原核細胞と真核細胞の違いについて、それらの細胞に含まれる細胞小器官の違いとともに理解している。 ・試料の採取、染色などを行い、光学顕微鏡で観察する技能を習得している。 【思考・判断・表現】 ・資料や実験をもとに、生物に共通する性質を見出し表現することができる。 ・細胞におけるDNAのはたらきについて理解し、説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・生物の共通性を、実験や観察を通して見出し、理解しようとしている。 ・原核細胞と真核細胞について、細胞に含まれる細胞小器官をもとに、違いを理解しようとしている。	○	○	○	8
	定期考查			○	○		1
	2節 生物とエネルギー 【知識及び技能】 生物とエネルギーに関する資料に基づいて、生命活動にエネルギーが必要であることを理解する。また、光合成や呼吸などの代謝とATPを関連付けて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 生物の特徴について、観察、実験などを通して探究し、多様な生物がもつ共通の特徴を見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 生物や生物現象に主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し科学的に探究し、解決する。	・生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解させる。その際、呼吸と光合成の概要を扱う。 ・代謝の反応が行われるときに、酵素がどのように関与しているのか理解させる。 ・光合成や呼吸がATPを合成する反応であることを理解させる。 ・オウゴン、ネジメの観察 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・生命活動に必要なエネルギーを、呼吸や光合成から得ていることを理解している。 ・生体内で行われる化学反応は、酵素が触媒していることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・呼吸や光合成からエネルギーを得る方法を、ATPと関連づけて考察し、それを表現できている。 ・カタラーゼを用いた実験から、酵素の作用と作用する物質の関係について結果を導き出すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・資料に基づいて、生命活動にエネルギーが必要であることを理解しようとしている。また、呼吸や光合成から得ていることを理解しようとしている。 ・体内で行われる化学反応は、酵素が関わっていることを理解しようとしている。	○	○	○	11
	定期考查				○		1
	第2章 遺伝子とその働き 1節 遺伝情報とDNA 【知識及び技能】 DNAの構造に関する資料に基づいて、遺伝情報を担う物質とし	・さまざまな生命現象にはタンパク質が関わっていることに触れ、それらタンパク質がDNAの遺伝情報に基づいて合成されることを理解させる。	【知識・技能】 ・DNAの塩基配列に基づいて、タンパク質が合成されることを理解している。				

2 学 期	てのDNA の特徴を見だし て理解する。とともに、塩基の相補性とDNA の複製を関連付けて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 生物の特徴について、観察、実験などを通して探究し、多様な生物がもつ共通の特徴を見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 生物や生物現象に主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し科学的に探究し、解決する。	・DNAからタンパク質が合成される際には、転写・翻訳が行われることを理解させる。 ・DNA模型の作製 ・一人1台端末の活用 等	【思考・判断・表現】 ・DNAの遺伝情報に基づいてタンパク質が合成される過程を体系的に考察し、表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・DNAの塩基配列の情報に基づいて、タンパク質が合成されることを理解しようとしている。	○	○	○	5
	定期考查			○	○		1
	第2章 遺伝子とその働き 1節 遺伝情報とDNA 【知識及び技能】 遺伝情報の発現に関する資料に基づいて、DNA の塩基配列とタンパク質のアミノ酸配列との関係を見いだして理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 生物の特徴について、観察、実験などを通して探究し、多様な生物がもつ共通の特徴を見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 生物や生物現象に主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し科学的に探究し、解決する。	・DNAからタンパク質が合成される際には、転写・翻訳が行われることを理解させる。 ・すべての遺伝子が細胞内で常に発現しているわけではないことを理解させる。 ・DNAの抽出実験 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・遺伝子の発現について理解し、細胞ごとに特定の遺伝子が発現するを理解している。 ・試料の採取、染色などを行い、光学顕微鏡で観察する技能を習得している。 【思考・判断・表現】 ・mRNAとアミノ酸との対応関係について、遺伝暗号表から読み解くことができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・DNAの塩基配列の情報に基づいて、タンパク質が合成されることを理解しようとしている。	○	○	○	12
	2節 体内環境の維持のしくみ 【知識及び技能】 体の調節に関する観察、実験などを行い、体内での情報の伝達が体の調節に関係していることを見いだして理解する。 体内環境の維持の仕組みに関する資料に基づいて、体内環境の維持とホルモンの働きとの関係を見いだして理解する。また、体内環境の維持を自律神経と関連付けて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ヒトの体の調節について、観察、実験などを通して探究し、神経系と内分泌系による調節及び免疫などの特徴を見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 生物や生物現象に主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し科学的に探究し、解決する。	・体内での情報の伝達がからだの調節に関係していることを見出して理解させる。 ・体内環境の調節に、神経系と内分泌系が関わっていることを理解させる。 ・体内環境の維持とホルモンの働きとの関係を見出して理解させる。 ・ヒトの体液濃度の調節が、自律神経とホルモンの作用により一定の範囲に保たれていることを理解させる。 ・血糖濃度がホルモンと自律神経が関わるしくみで調節されていることについて理解させ、調節ができなくなったときに発症する疾患についても触れる。 ・腎臓の構造と観察 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・神経やホルモンの働きにより体内環境が維持されることを理解している。 ・ホルモンの分泌により血糖濃度が保たれることを理解しており、ホルモンの分泌不足による発症する疾患についての知識を得ている。 ・実験により得られたデータを比較・分析するにより、結論を導き出すことができている。 【思考・判断・表現】 ・からだの調節に関する観察、実験などを行い、体内での情報の伝達が体の調節に関係していることを見出して理解するができている。 ・血糖濃度調節のしくみを、ホルモンと自律神経系の両方の働きから説明できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・観察、実験に基づいて、体内での情報の伝達がからだの調節に関係していることを見出し、理解しようとしている。 ・資料に基づいて、ヒトの血糖濃度が調節されるしくみを見いだし、理解しようとしている。	○	○	○	12
	定期考查			○	○		1
3 学 期	3節 免疫 【知識及び技能】 免疫に関する資料に基づいて、異物を排除する防御機構が備わっていることを見いだして理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ヒトの体の調節について、観察、実験などを通して探究し、神経系と内分泌系による調節及び免疫などの特徴を見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 生物や生物現象に主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し科学的に探究し、解決する。	・ヒトには異物を排除する防御機構が備わっていることを見出して理解させる。 ・病原体の侵入を防ぐための、異物を認識し、排除するしくみを理解させる。 ・免疫のしくみの概要を取り上げ、体液性免疫や細胞性免疫について理解させる。 ・一次応答と二次応答の違いを理解させ、同じ疾患に二度かかりにくい理由を考察させる。 ・ヒトの身近な免疫疾患について理解させる。 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・病原体などの異物を認識・排除するしくみを理解している。 ・免疫の医療への応用やヒトの免疫疾患について理解している。 【思考・判断・表現】 ・資料に基づき、異物を排除する防御機構が備わっていることを見出して理解するができている。 ・病原体を認識・排除する機構のしくみを体系的に考察し、表現するができている。 ・ヒトの免疫疾患について、身近な例をもとに説明するができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・免疫について、身近な現象と絡めて理解しようとしている。	○	○	○	10
							合計
							70

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科		保健体育	科目	体育
教 科：	保健体育	科 目：	体育	単位数： 3 単位
対象学年組：第 3 学年 A 組～ H 組				
使用教科書：（ ）				
教科	保健体育	の目標：		
【知 識 及 び 技 能】		各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。		
【思考力、判断力、表現力等】		運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。		
【学びに向かう力、人間性等】		生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。		
科目	体育	の目標：		

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元：体づくり運動 【知識及び運動】 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組むことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど、話合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保すること。	・指導事項 オリエンテーション 集団行動 ラジオ体操 基礎運動 体力テスト ・教材 新体力テスト実施要領 ・一人1台端末の活用 等 小テストや課題提出等	【知識・運動】 体づくり運動では、自己のねらいに応じて、効果的な成果を得るための適切な運動の行い方があることについて、言ったり書き出したりしている。 【思考・判断・表現】 生活様式や体力の程度を踏まえ、自己のねらいに応じた運動の計画を立案している。 【主体的に学習に取り組む態度】 体づくり運動の学習に主体的に取り組もうとしている。 一人ひとりの違いに応じた動きなどを大切にしようとしている。	○	○	○	6
	単元：陸上競技 【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとするなど、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。	・指導事項 リレー指導 脚力強化トレーニング ・教材 ・一人1台端末の活用 等 小テストや課題提出等	【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 短距離走・リレーでは、中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ることやバトンの受渡しで次走者のスピードを十分高めることができる。 【思考・判断・表現】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとするなど、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保しようとしている。	○	○	○	8
	単元：球技 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとするなど、作戦などについての話合いに貢献しようとするなど、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとするなど、互いに助け合い教え合おうとするなどや、健康・安全を確保すること。	・指導事項 球技：ソフトボール ・教材 試合シート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 球技には、集団対集団、個人対個人で攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わえる特性があることについて、言ったり書き出している。 【思考・判断・表現】 提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に仲間の課題や出来栄を伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 球技の学習に積極的に取り組もうとしている。 マナーを守ったり相手の検討を認めたりして、フェアなプレイを守ろうとしている。	○	○	○	12

2 学 期							
	単元：球技 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。	・指導事項 球技：バレーボール ・教材 試合シート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 球技には、集団対集団、個人対個人で攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わえる特性があることについて、言ったり書き出している。 【思考・判断・表現】 提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に仲間の課題や出来栄を伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 球技の学習に積極的に取り組もうとしている。マナーを守ったり相手の検討を認めたりして、フェアなプレイを守ろうとしている。	○	○	○	12
	単元：球技 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。	・指導事項 バスケットボール ・教材 ・一人1台端末の活用 等 小テストや課題提出等	【知識・技能】 球技には、集団対集団、個人対個人で攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わえる特性があることについて、言ったり書き出している。 【思考・判断・表現】 提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に仲間の課題や出来栄を伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 球技の学習に積極的に取り組もうとしている。マナーを守ったり相手の検討を認めたりして、フェアなプレイを守ろうとしている。	○	○	○	12
	単元：球技 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。	・指導事項 サッカー ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 球技には、集団対集団、個人対個人で攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わえる特性があることについて、言ったり書き出している。 【思考・判断・表現】 提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に仲間の課題や出来栄を伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 球技の学習に積極的に取り組もうとしている。マナーを守ったり相手の検討を認めたりして、フェアなプレイを守ろうとしている。	○	○	○	12
	単元：球技 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。	・指導事項 バドミントン ・教材 ・一人1台端末の活用 等 小テストや課題提出等	【知識・技能】 球技には、集団対集団、個人対個人で攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わえる特性があることについて、言ったり書き出している。 【思考・判断・表現】 提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に仲間の課題や出来栄を伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 球技の学習に積極的に取り組もうとしている。マナーを守ったり相手の検討を認めたりして、フェアなプレイを守ろうとしている。	○	○	○	15
	単元：球技 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦	・指導事項 テニス ・教材 ・一人1台端末の活用 等 小テストや課題提出等	【知識・技能】 球技には、集団対集団、個人対個人で攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わえる特性があることについて、言ったり書き出している。 【思考・判断・表現】				

3 学 期	示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に仲間の課題や出来栄を伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 球技の学習に積極的に取り組もうとしている。 マナーを守ったり相手の検討を認めたりして、フェアなプレイを守ろうとしている。	○	○	○	12		
	単元：球技 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。	・指導事項 バスケットボール ・教材 ・一人1台端末の活用 等 小テストや課題提出等	【知識・技能】 球技には、集団対集団、個人対個人で攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わえる特性があることについて、言ったり書き出している。 【思考・判断・表現】 提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に仲間の課題や出来栄を伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 球技の学習に積極的に取り組もうとしている。 マナーを守ったり相手の検討を認めたりして、フェアなプレイを守ろうとしている。	○	○	○	12
	単元：体育理論 【知識及び技能】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に主体的に取り組むこと。	・指導事項 バスケットボール ・教材 ・一人1台端末の活用 等 小テストや課題提出等	【知識・技能】 ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解している。 【思考・判断・表現】 ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
						合計	
					105		

高等学校 令和4年度（1学年用）教科 芸術 科目 音楽Ⅱ

教 科： 芸術

科 目： 音樂Ⅱ

单位数： 2 单位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ H 組

使用教科書：（ MOUSA2 教育芸術社 ）

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】 歌唱、器楽、鑑賞、創作における発展的な知識を理解する。

【思考力、判断力、表現力等】音楽活動を通じて、論理的思考力、課題解決能力の育成、および、創造力・表現力（専門分野）の向上。

【学びに向かう力、人間性等】 音楽活動、ペアワークを通じて、将来を設計する力、コミュニケーション能力の向上。

科目 音楽Ⅱ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
音符や記号を理解し、楽譜を読むことができる。自らの考えや感性を整理して分析するための知識や、それを表現するために必要な技能を身に付ける。	ペアワークやグループ活動を通して自らの学びを深める。音楽の幅広い活動を通して、生活や社会の中の音や音楽文化と幅広く関わり、思考力、判断力、専門的な表現力を養う。	音楽の幅広い活動やグループ活動を通して、豊かな人間性を持った人材の育成を目指し、コミュニケーション能力を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現鑑賞				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創						
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】 授業内容の把握 【思考力、判断力、表現力等】 学習計画を行う 【学びに向かう力、人間性等】 出席状況、協調性	・指導事項 オリエンテーション ・教材 教科書・ワーク 一人1台端末の活用 等 調べ学習	○			○	A 単元 【知識及び技能】 授業内容の把握 【思考力、判断力、表現力等】 学習計画を行う 【学びに向かう力、人間性等】 出席状況、協調性	○	○	○	6
	A 単元 【知識及び技能】 授業項目の理解 【思考力、判断力、表現力等】 腹式呼吸を行う 【学びに向かう力、人間性等】 出席状況、積極性	・指導事項 音楽鑑賞・呼吸と発声法・楽典 ・教材 コンコーネ・校歌楽譜・ワーク 一人1台端末の活用 等 調べ学習		○		○	A 単元 【知識及び技能】 授業内容の把握 【思考力、判断力、表現力等】 学習計画を行う 【学びに向かう力、人間性等】 出席状況、協調性		○	○	6
	A 単元 【知識及び技能】 読譜力 【思考力、判断力、表現力等】 学習内容の把握と発展的理解 【学びに向かう力、人間性等】 出席状況、協調性	・指導事項 ギター・ ・教材 教科書・プリント・ワーク 一人1台端末の活用 等 調べ学習	○	○		○	A 単元 【知識及び技能】 授業内容の把握 【思考力、判断力、表現力等】 学習計画を行う 【学びに向かう力、人間性等】 出席状況、協調性		○	○	6
	A 単元 【知識及び技能】 授業項目の理解 【思考力、判断力、表現力等】 腹式呼吸を行う 【学びに向かう力、人間性等】 出席状況、積極性	・指導事項 音楽鑑賞・呼吸と発声法・楽典 ・教材 コンコーネ・校歌楽譜・歌唱局 一人1台端末の活用 等 調べ学習	○	○		○	A 単元 【知識及び技能】 授業内容の把握 【思考力、判断力、表現力等】 学習計画を行う 【学びに向かう力、人間性等】 出席状況、協調性		○	○	6
2 学 期	A 単元 【知識及び技能】 授業内容の把握 【思考力、判断力、表現力等】 学習内容の把握と発展的理解 【学びに向かう力、人間性等】 出席状況、協調性	・指導事項 下記課題の提出・歌曲・ギター ・教材 歌唱（教科書より） 一人1台端末の活用 等 調べ学習	○	○	○	○	A 単元 【知識及び技能】 授業内容の把握 【思考力、判断力、表現力等】 学習計画を行う 【学びに向かう力、人間性等】 出席状況、協調性		○	○	15
	A 単元 【知識及び技能】 授業内容の把握 【思考力、判断力、表現力等】 学習内容の把握と発展的理解 【学びに向かう力、人間性等】 出席状況、協調性	・指導事項 ギター・キーボード、鑑賞 ・教材 教科書・ワーク 一人1台端末の活用 等 調べ学習	○	○	○	○	A 単元 【知識及び技能】 授業内容の把握 【思考力、判断力、表現力等】 学習計画を行う 【学びに向かう力、人間性等】 出席状況、協調性		○	○	15
3 学 期	A 単元 【知識及び技能】 発表内容の整理 【思考力、判断力、表現力等】 発表する際の表現技術理解 【学びに向かう力、人間性等】 出席状況、協調性	・指導事項 音楽鑑賞・発表・楽典 ・教材 コンコーネ・校歌楽譜・歌唱局 一人1台端末の活用 等 調べ学習	○	○		○	A 単元 【知識及び技能】 授業内容の把握 【思考力、判断力、表現力等】 学習計画を行う 【学びに向かう力、人間性等】 出席状況、協調性		○	○	8
	A 単元 【知識及び技能】 授業内容の整理 【思考力、判断力、表現力等】 学習内容のまとめ 【学びに向かう力、人間性等】 出席状況、協調性	・指導事項 音楽鑑賞・呼吸と発声法・楽典 ・教材 コンコーネ・校歌楽譜・歌唱局 一人1台端末の活用 等 調べ学習	○	○		○	A 単元 【知識及び技能】 授業内容の把握 【思考力、判断力、表現力等】 学習計画を行う 【学びに向かう力、人間性等】 出席状況、協調性		○	○	8
											合 計
											70

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 芸術 科目 音楽表現（3年）
 教 科： 芸術 科 目： 音楽表現（3年） 単位数： 3 単位
 対象学年組：第 3 学年 A 組～ H 組
 使用教科書：（ ON! 教育芸術社 ）

【学びに向かう力、人間性等】 毎回の授業時間に出席し、周囲と協力して学び、意識を高めることができる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
表現に必要な知識を整理し、調べ学習等を行う。合理的な練習方法を調べ、また、教師に発問しながら、効率の良い技能習得を目指す。	作品を制作するにあたり、必要な表現力等を、教師との質疑応答や調べ学習をすることにより力を育む。その際に、よく考えて、自ら判断を下しながら学習を進める。	毎回の授業に出席し、限られた練習時間を効率よく使うようにする。周囲の生徒と協力して学び、意識を高めることができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現				鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創							
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】今までの学びの振り返り。 【思考力、判断力、表現力等】作品制作の計画。 【学びに向かう力、人間性等】出席と授業を受ける上での協調性。	・指導事項 作品制作の計画。 ・教材 ICT等。 ・一人1台端末の活用 必要に応じ、YouTubeやサイトの講座、アプリの使用を行う 等	○	○	○	○	【観点】 【知識及び技能】表現する内容を精査することができる 【思考力、判断力、表現力等】作品制作に向けて具体的な計画を立て、考えを深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】出席状況と協調性。	○	○	○	6	
	A 単元 【知識及び技能】今までの学びの振り返り。 【思考力、判断力、表現力等】作品制作の計画。 【学びに向かう力、人間性等】出席と授業を受ける上での協調性。	・指導事項 作品制作の計画。 ・教材 ICT等。 ・一人1台端末の活用 必要に応じ、YouTubeやサイトの講座、アプリの使用を行う 等	○	○	○	○	【観点】 【知識及び技能】表現する内容を精査することができる 【思考力、判断力、表現力等】作品制作に向けて具体的な計画を立て、考えを深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】出席状況と協調性。	○	○	○	6	
	A 単元 【知識及び技能】今までの学びの振り返り。 【思考力、判断力、表現力等】作品制作の計画。 【学びに向かう力、人間性等】出席と授業を受ける上での協調性。	・指導事項 作品制作の計画。 ・教材 ICT等。 ・一人1台端末の活用 必要に応じ、YouTubeやサイトの講座、アプリの使用を行う 等	○	○	○	○	【観点】 【知識及び技能】表現する内容を精査することができる 【思考力、判断力、表現力等】作品制作に向けて具体的な計画を立て、考えを深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】出席状況と協調性。	○	○	○	6	
	A 単元 【知識及び技能】今までの学びの振り返り。 【思考力、判断力、表現力等】作品制作の計画。 【学びに向かう力、人間性等】出席と授業を受ける上での協調性。	・指導事項 作品制作の計画。 ・教材 ICT等。 ・一人1台端末の活用 必要に応じ、YouTubeやサイトの講座、アプリの使用を行う 等	○	○	○	○	【観点】 【知識及び技能】表現する内容を精査することができる 【思考力、判断力、表現力等】作品制作に向けて具体的な計画を立て、考えを深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】出席状況と協調性。	○	○	○	6	
2 学 期	A 単元 【知識及び技能】今までの学びの振り返り。 【思考力、判断力、表現力等】作品制作の計画。 【学びに向かう力、人間性等】出席と授業を受ける上での協調性。	・指導事項 作品制作の計画。 ・教材 ICT等。 ・一人1台端末の活用 必要に応じ、YouTubeやサイトの講座、アプリの使用を行う 等	○	○	○	○	【観点】 【知識及び技能】表現する内容を精査することができる 【思考力、判断力、表現力等】作品制作に向けて具体的な計画を立て、考えを深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】出席状況と協調性。	○	○	○	15	
	A 単元 【知識及び技能】今までの学びの振り返り。 【思考力、判断力、表現力等】作品制作の計画。 【学びに向かう力、人間性等】出席と授業を受ける上での協調性。	・指導事項 作品制作の計画。 ・教材 ICT等。 ・一人1台端末の活用 必要に応じ、YouTubeやサイトの講座、アプリの使用を行う 等	○	○	○	○	【観点】 【知識及び技能】表現する内容を精査することができる 【思考力、判断力、表現力等】作品制作に向けて具体的な計画を立て、考えを深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】出席状況と協調性。	○	○	○	15	
3 学 期	A 単元 【知識及び技能】今までの学びの振り返り。 【思考力、判断力、表現力等】作品制作の計画。 【学びに向かう力、人間性等】出席と授業を受ける上での協調性。	・指導事項 作品制作の計画。 ・教材 ICT等。 ・一人1台端末の活用 必要に応じ、YouTubeやサイトの講座、アプリの使用を行う 等	○	○	○	○	【観点】 【知識及び技能】表現する内容を精査することができる 【思考力、判断力、表現力等】作品制作に向けて具体的な計画を立て、考えを深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】出席状況と協調性。	○	○	○	8	
	A 単元 【知識及び技能】今までの学びの振り返り。 【思考力、判断力、表現力等】作品制作の計画。 【学びに向かう力、人間性等】出席と授業を受ける上での協調性。	・指導事項 作品制作の計画。 ・教材 ICT等。 ・一人1台端末の活用 必要に応じ、YouTubeやサイトの講座、アプリの使用を行う 等	○	○	○	○	【観点】 【知識及び技能】表現する内容を精査することができる 【思考力、判断力、表現力等】作品制作に向けて具体的な計画を立て、考えを深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】出席状況と協調性。	○	○	○	8 合計 70	

桜町（全日）

高等学校 令和6年度

教科 芸術

科目 アニメーション表現

教科： 芸術

科目： アニメーション表現

単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 年次 A-H組

使用教科書： （日本文教出版 『高校生の美術1』）

教科 芸術

の目標： 芸術に関する専門教育を通して、我が国の芸術文化を支え、国内外での芸術文化活動により社会貢献できる心豊かな人間の育成を図る。

- 【知識及び技能】 芸術活動を通じて、専門分野の能力の向上、国際的に活躍することができる人材の育成。
- 【思考力、判断力、表現力等】 芸術活動を通じて、論理的思考力、課題解決能力の育成、および、創造力・表現力（専門分野）の向上。
- 【学びに向かう力、人間性等】 芸術活動を通じて、将来を設計する力、コミュニケーション能力の向上。

科目 アニメーション表現

の目標： 美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】				【学びに向かう力、人間性等】					
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。		造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。				主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。					
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			絵・彫	デ	映						
一 学 期	（１）『映像メディアの可能性』 【知識及び技能に関する目標】映像メディアの可能性について理解し、視覚の効果を考慮して作品に取り組む。 【思考力、判断力、表現力等に関する目標】錯視やイメージの重なりなどを基に、形や色彩、描くものや配置などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 【学びに向かう力、人間性等に関する目標】映像メディアの創作活動に、主体的に取り組む。	（１）『映像メディアの可能性』と題し、様々なメディアの作品を鑑賞する。鑑賞を通じ、その目的と創造活動への関心を高め、個人が主体性をもって学習への取り組むことを心がける。 ・教科書・制作ノート・筆記用具　リサーチ ・端末利用　美術史のリサーチ	○		○	○	【知識及び技能】作品の鑑賞を通じて、映像メディアの可能性について理解し、視覚の効果を考慮して作品に取り組めたか。 【思考・判断・表現】制作ノート使用し、錯視やイメージの重なりなどを基に、形や色彩、描くものや配置などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】　提出課題において、映像メディアの創作活動に、主体的に取り組めたか。	○	○	○	6
	（２）『メタモルフォーゼ』 【知識及び技能に関する目標】アニメーションの表現手法である変形概念について理解する。 【思考力、判断力、表現力等に関する目標】鑑賞を通じて、形や色、構図や表情などの感情に与える効果や造形的な特徴を基に全体のイメージなどを捉える。 【学びに向かう力、人間性等に関する目標】視覚効果を考えながら創造活動に、主体的に取り組む。	（２）『メタモルフォーゼ』について学び、CGを使用してGIFアニメを完成させる。 ・教科書・制作ノート・ケント紙・筆記用具 ・端末利用　メタモルフォーゼについてリサーチ	○	○		○	【知識及び技能】作品の鑑賞を通じて、アニメーションの表現手法である変形概念について理解できたか。 【思考・判断・表現】制作ノート使用し、鑑賞を通じて、形や色、構図や表情などの感情に与える効果や造形的な特徴を基に全体のイメージなどを捉えられたか。 【主体的に学習に取り組む態度】　提出課題において、視覚効果を考えながら創造活動に、主体的に取り組めたか。	○	○	○	8
	（３）『自画像を用いたハイコン表現』 【知識及び技能に関する目標】鑑賞を通じて、自己みつめ自分らしいテーマで制作に望む。 【思考力、判断力、表現力等に関する目標】自分らしいタッチの実現を図り、さまざまな発想で自画像を構成する。 【学びに向かう力、人間性等に関する目標】鑑賞から得たイメージや創造力を創意工夫して制作できたか。また、見方や感じ方を深める創造活動に取り組む。	（３）『自画像を用いたハイコン表現』自画像をモチーフにしたハイコン画の作品鑑賞を通じて、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫への理解や見方を深めるとともに、レタッチの多様性について学習する。 ・教科書・制作ノートデッサン紙・鉛筆・色鉛筆など ・端末利用　ハイコン作品のリサーチ	○			○	【知識及び技能】作品の鑑賞を通じて、自己みつめ自分らしいテーマで制作に望めたか。 【思考・判断・表現】制作ノート使用し、自分らしいタッチの実現を図り、さまざまな発想で自画像を構成できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】提出課題において、鑑賞から得たイメージや創造力を創意工夫して制作できたか。また、見方や感じ方を深める創造活動に取り組めたか。	○	○	○	8
	（４）CGデザイン『スタンプ』制作 【知識及び技能に関する目標】鑑賞を通じて、形や色など、伝達したい情報やイメージを捉え、特性を生かして表す。 【思考力、判断力、表現力等に関する目標】伝えたい情報や使われる場面などを基に、キャラクターの形や色彩、性格設定など	（４）CGデザイン『スタンプ』制作 矩形を使用したイラストレーションについて学び、オリジナルのスタンプを制作する。 ・教科書・制作ノート・リサイクルバッグ・アクリル絵の具・筆記用具 ・端末利用　スタンプデザインのリサーチ					【知識及び技能】鑑賞を通じて、形や色など、伝達したい情報やイメージを捉え、特性を生かして表現できたか。 【思考・判断・表現】　制作ノート使用し、伝えたい情報や使われる場面などを基に、キャラクターの形や色彩、性格設定などによる伝達効果を考え、構想を練ったり鑑賞できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】　提出課題において				

[illegible]

桜町（全日）

高等学校 令和6年度

教科 芸術

科目 絵画表現

教 科： 芸術

科 目： 絵画表現

単位数： 3 単位

対象学年組：第 3 年次 A - H 組

使用教科書：（日本文教出版 『高校生の美術1』）

教科 芸術

の目標： 芸術に関する専門教育を通して、我が国の芸術文化を支え、国内外での芸術文化活動により社会貢献できる心豊かな人間の育成を図る。

【知識及び技能】 芸術活動を通じて、専門分野の能力の向上、国際的に活躍することができる人材の育成。

【思考力、判断力、表現力等】 芸術活動を通じて、論理的思考力、課題解決能力の育成、および、創造力・表現力（専門分野）の向上。

【学びに向かう力、人間性等】 芸術活動を通じて、将来を設計する力、コミュニケーション能力の向上。

科目 絵画表現

の目標： 美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			絵・ 彫	デ	映						

一 学 期	（１）『美術とはなにか』 【知識及び技能に関する目標】美術とは何かという命題に向き合い、今までの美術の学習を振り返り、自分の心の中を見つめたり、気付かなかった自分の考えに気付いたりして、自分の美術を見付けていく。 【思考力、判断力、表現力等に関する目標】鑑賞を通じて、造形的なよさや美しさを感じ取り、構想を練ったりする。 【学びに向かう力、人間性等に関する目標】作品に込められた意図や作品を見つめて、感じたことを創造活動に主体的に取り組む。	（１） オリエンテーション『美術とは何か』美術の創造活動の喜びを味わい、表現や鑑賞の能力を身に付けるために、美術探求の柱となる①美術文化史のリサーチ②美技制作③メディア探求を実施し、学校・地域・美術館と連携し、主体的な学習への取り組み方について学ぶ。 ・教科書・制作ノート・筆記用具 リサーチ ・端末利用 美術史のリサーチ	○			○	【知識及び技能】鑑賞を通じて、美術とは何かという命題に向き合い、今までの美術の学習を振り返り、自分の心の中を見つめたり、気付かなかった自分の考えに気付いたりして、自分の美術を見付けてたか。 【思考・判断・表現】制作ノートを使用し、造形的なよさや美しさを感じ取り、構想を練ったか。 【主体的に学習に取り組む態度】提出課題において、作品に込められた意図や作品を見つめて、感じたことを創造活動に主体的に取り組めたか。	○	○	○	6
-------------	---	---	---	--	--	---	---	---	---	---	---

（２）『日本をテーマ』 【知識及び技能に関する目標】日本の美術の表現の特質、美術文化の継承と創造について考え、日本の美術の独自の美意識や自然観、制作の知恵などを理解する。 【思考力、判断力、表現力等に関する目標】作家の描いた作品の鑑賞を通じて、形や色、構図や表情などの感情に与える効果や造形的な特徴を基に全体のイメージなどを捉え、材料の特性を生かして創造的に表す。 【学びに向かう力、人間性等に関する目標】自身の内にある本質などに向き合い、見つめ直し、感じ取ったことや考えたことなどを基に、構想を練ったり鑑賞し、自己の創造活動に、主体的に取り組む。	（２）『日本をテーマに』グラフィック作品について作品鑑賞を実施し、観る力を養い、感性や想像力を働かせて、造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫への理解や見方を深める。 ・教科書・制作ノート・ケント紙・絵の具・筆記用具 ・端末利用 グラフィック作品のリサーチ	○	○		○	【知識及び技能】鑑賞を通じて、日本の美術の表現の特質、美術文化の継承と創造について考え、日本の美術の独自の美意識や自然観、制作の知恵などを理解できたか。 【思考・判断・表現】制作ノートを使用し、作家の描いた作品の鑑賞を通じて、形や色、構図や表情などの感情に与える効果や造形的な特徴を基に全体のイメージなどを捉え、材料の特性を生かして創造的に表せたか。 【主体的に学習に取り組む態度】提出課題において、自身の内にある本質などに向き合い、見つめ直し、感じ取ったことや考えたことなどを基に、構想を練ったり鑑賞し、自己の創造活動に、主体的に取り組めたか。	○	○	○	15
---	--	---	---	--	---	---	---	---	---	----

（３）『学校をテーマに』 【知識及び技能に関する目標】身近な風景や見慣れた学校の中の景色を基にイメージを膨らませ構想を練り、風景から感じ取ったよさや美しさを生かして表す。 【思考力、判断力、表現力等に関する目標】校内を観察し、アイデアスケッチを重ねて、自分らしい視点やさまざまな発想で学校の風景を構成する。 【学びに向かう力、人間性等に関する目標】鑑賞から得たイメージや創造力を創意工夫して制作できたか。また、見方や感じ方を深める創造活動に取り組む。	（３）『学校をテーマに』アイデアや発想を練り、ポスターなどの自由制作を実施する。 ・教科書・制作ノート・ケント紙・絵の具・筆記用具など ・端末利用 ポスター作品のリサーチ	○	○		○	【知識及び技能】鑑賞を通じて、身近な風景や見慣れた学校の中の景色を基にイメージを膨らませ構想を練り、風景から感じ取ったよさや美しさを生かせたか。 【思考・判断・表現】制作ノートを使用し、校内を観察し、アイデアスケッチを重ねて、自分らしい視点やさまざまな発想で学校の風景を構成できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】提出課題において、鑑賞から得たイメージや創造力を創意工夫して制作できたか。また、見方や感じ方を深める創造活動に取り組めたか。	○	○	○	18
--	---	---	---	--	---	--	---	---	---	----

	（４）『オリジナルキャラクターデザイン』 【知識及び技能に関する目標】キャラクターの形や色、性格を表すポーズや持ち物などの効果、伝達したい情報やイメージなどを捉え、材料や用具などの特性を生かして表す。 【思考力、判断力、表現力等に関する目標】キャラクターの形や色、性格を表すポーズや持ち物などの効果、伝達したい情報やイメージなどを捉え、材料や用具などの特性を生かして表せたか。	（４）『オリジナルキャラクターデザイン』学校や地域をテーマに平面・立体の作品の自由制作を実施する。 ・教科書・制作ノート・石粉粘土・アクリル絵の具・筆記用具 ・端末利用 キャラクターデザインのII					【知識及び技能】鑑賞を通じて、キャラクターの形や色、性格を表すポーズや持ち物などの効果、伝達したい情報やイメージなどを捉え、材料や用具などの特性を生かして表せたか。 【思考・判断・表現】制作ノート使用し、伝えたい情報や使われる場面などを基に、キャラクターの形や色彩、性格設定などによる伝達効果を考え、構想を練ったり鑑賞できたか。				
--	--	--	--	--	--	--	---	--	--	--	--

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			絵・彫	デ	映						
二 学 期	【心づな、つながり、支えのすに因る目 標】伝えたい情報や使われる場面などを基に、キャラクターの形や色彩、性格設定などによる伝達効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 【学びに向かう力、人間性等に関する目 標】伝えたい情報やイメージをキャラク ターとして豊かに表す創造活動に、主体的 に取り組む。	心づな、つながり、支えのすに因る目 標】伝えたい情報や使われる場面などを基に、キャラクターの形や色彩、性格設定などによる伝達効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。	○	○		○	【主体的に学習に取り組む態度】 提出課題において、伝えたい情報やイメージをキャラクターとして豊かに表す創造活動に、主体的に取り組めたか。	○	○	○	15
	(5)『アーティストの言葉』 【知識及び技能に関する目標】 鑑賞を通じて、自分の心の中を見つめたり、気付かなかった自分の考えに気付いたりして、自分の美術を見付けていく。 【思考力、判断力、表現力等に関する目標】 作品鑑賞のポイントについて理解し、自己の内面を見つめ、今の気持ちや性格など自分らしい印象などを基に、構想を練ったり鑑賞したりする。 【学びに向かう力、人間性等に関する目標】 美術の役割や感想などをレポートにまとめ、互いに鑑賞し、創造活動に、主体的に取り組む。	(5)『アーティストの言葉』についてリサーチし、タブレット端末を使用し、発表および鑑賞を実施する。 ・教科書・制作ノート・筆記用具 ・端末利用 美術史のリサーチ	○		○	○	【知識及び技能】鑑賞を通じて、自分の心の中を見つめたり、気付かなかった自分の考えに気付いたりして、自分の美術を見付けられたか。 【思考・判断・表現】制作ノートを使用し、自己の内面を見つめ、今の気持ちや性格など自分らしい印象などを基に、構想を練ったり鑑賞できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】提出課題において、美術の役割や感想などをレポートにまとめ、互いに鑑賞し、創造活動に、主体的に取り組めたか。	○	○	○	9
	(6)『卒業自由制作』 【知識及び技能に関する目標】卒業をテーマとした自由課題の活動を通して、美術を通じて学校や社会との連携について考える。 【思考力、判断力、表現力等に関する目標】制作を通じて、自ら感じ取ったことや考えたことを基に、構想を練ったり鑑賞したりする。 【学びに向かう力、人間性等に関する目標】制作を通じて感じ取ったよさや美しさなどを捉えて表す創造活動に、主体的に取り組む。	(6)『卒業自由制作』校内に展示する卒業作品について各自アイデアを絞り制作する。個々の発想や努力の広がりには十分の評価を与え、アイデア・描写力・構成力など総合的に工夫する意欲を養う。 ・教科書・制作ノート・ケントボード・アクリル絵の具・筆記用具 ・端末利用 参考作品のリサーチ	○	○	○	○	【知識及び技能】卒業をテーマとした自由課題の活動を通して、美術を通じて学校や社会との連携について考えられたか。 【思考・判断・表現】制作ノートを使用し、自ら感じ取ったことや考えたことを基に、構想を練ったり鑑賞できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】提出課題において、制作を通じて感じ取ったよさや美しさなどを捉えて表す創造活動に、主体的に取り組めたか。	○	○	○	15
三 学 期	(7)『ポートフォリオ制作』 【知識及び技能に関する目標】静物・石膏デッサン・平面構成・ポスターから自由課題を選び制作者の創造性に着目する。 【思考力、判断力、表現力等に関する目標】 ポートフォリオ制作を通じて、これまでになかった作品を生み出す喜びと制作者の意図や創造的な表現の工夫について考える。 【学びに向かう力、人間性等に関する目標】 制作者の創造性に着目して、表現の意図や工夫を読み取り鑑賞する創造活動に、主体的に取り組む。	(7)『ポートフォリオ制作』静物・石膏デッサン・平面構成・ポスターから自由課題を選びポートフォリオを作成する。 ・教科書・制作ノート・ケントボード・アクリル絵の具・筆記用具 ・端末利用 参考作品のリサーチ	○	○	○	○	【知識及び技能】鑑賞を通じて静物・石膏デッサン・平面構成・ポスターから自由課題を選び制作者の創造性に着目できたか。 【思考・判断・表現】ポートフォリオ制作を通じて、これまでになかった作品を生み出す喜びと制作者の意図や創造的な表現の工夫について考えられかたか。 【主体的に学習に取り組む態度】制作者の創造性に着目して、表現の意図や工夫を読み取り鑑賞する創造活動に、主体的に取り組めたか。	○	○	○	21
	(8)『鑑賞会と作品返却』 1年間の授業の課題を振り返り、美術クラスごとにTeamsを使用した作品集を作成し、作品鑑賞全般への理解や見方、関心を深める力を養う。 【知識及び技能に関する目標】これまでになかった視覚表現を生み出した、制作者の創造性に着目し、作品の表現の意図や工夫、全体のイメージや作風、様式などを捉える。 【思考力、判断力、表現力等に関する目標】 これまでになかった作品を生み出すという場合に、よさや美しさがどのように表れてくるのかを感じ取り、制作者の意図や創造的な表現の工夫について考える。 【学びに向かう力、人間性等に関する目標】 制作者の創造性に着目して、表現の意図や工夫を読み取り鑑賞する創造活動に、主体的に取り組む。	(8)『鑑賞会と作品返却』地域の美術館と連携し鑑賞を通じて、美術全般への理解や見方、関心を深める力を養う。 ・教科書・制作ノート・筆記用具 ・端末利用 鑑賞ノートを共有する				○	【知識及び技能】鑑賞を通じて、これまでになかったメディア表現を生み出した制作者の創造性に着目し、作品の表現の意図や工夫、全体のイメージや作風、様式などを捉えることを理解できたか。 【思考・判断・表現】制作ノートを使用し、制作者の心情や意図と創造的な表現の工夫について考え、見方や感じ方を深められたか。 【主体的に学習に取り組む態度】美術や美術文化と豊かに関わる中で、創造性を駆使して表現された作品の、鑑賞の創造活動に主体的に取り組むことができたか。	○	○	○	6

[illegible]

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅢ

教 科： 外国語 科 目： 英語コミュニケーションⅢ 単位数： 4 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ H 組

使用教科書： （ ）

教科 外国語 の目標：

【知 識 及 び 技 能】 文章を読むのに必要な文法知識を獲得する。

【思考力、判断力、表現力等】 文章の展開や書き手の意図を把握し、概要や要点、詳細を捉える。

【学びに向かう力、人間性等】 主体的に考えを詳しく話して伝えたり、相手からの質問に答える。

科目 英語コミュニケーションⅢ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英文を読むのに必要な文構造を理解できる。	様々な文章を読み、文章の展開や書き手の意図を把握し、概要や要点、詳細を捉えることができる。	多様な語句や文を用いて、主体的に考えを詳しく話して伝えたり、相手からの質問に答えることができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 〔や〕	話 〔発〕	書					
1 学 期	L Spelling Bees R Blended Words L Green Roofs R London—National Park City L Robotic Pets R Flying Cars	必要な情報を聞き取る/読み取る 意味のまとまりごとに理解する キーワードや内容語から概要を把握する ・教材 「MY WAY English Communication Ⅲ」 「MY WAY English Communication Ⅲ WORKBOOK」 「Jet Reading Level 3」 「大学入学共通テストリスニング分野別10 mins.」 「Data Base 4500」	○	○	○	○	○	●英語の混成語について、理解して考えを深めることができる。 ●スベリングコンテストに出場してみたいかについて、意見を交換したり、書いて伝えたりすることができる。 ●ロンドンが国立公園都市宣言をしたことについて、理解して考えを深めることができる。 ●CO2を減らすためにできることについて、意見を交換したり、書いて伝えたりすることができる。 ●空飛ぶ車について、理解して考えを深めることができる。 ●どんなロボットが学校にあってほしいかについて、意見を交換したり、書いて伝えたりすることができる。	○	○	○	16
	L Buckwheat in the World R Insects: Food for the Future L May Day R Dragon Boat Racing L Mere Exposure Effect R Placebo Effects	視覚情報を利用して聞き取る / 読み取る 論理の展開を把握する（列挙・例示） 論理の展開を把握する（原因・結果）	○	○	○	○	○	●昆虫食について、理解して考えを深めることができる。 ●日本の農業を支えるためにできることについて、意見を交換したり、書いて伝えたりすることができる。 ●ドラゴンボートレースについて、理解して考えを深めることができる。 ●自分の好きなお祭りについて、意見を交換したり、書いて伝えたりすることができる。 ●プラシーボ効果について、理解して考えを深めることができる。 ●新しいことに対してどう思うかについて、意見を交換したり、書いて伝えたりすることができる	○	○	○	16
	定期考査								○	○		
	L Amazing Abilities of Animals R Magawa: The Mine-Detecting Rat L Actions for Saving Children R A Reassuring Song	話の要点を理解する 話者や筆者の意図を推測する	○	○	○	○	○	●地雷探知ネズミについて、理解して考えを深めることができる。 ●動物がどのような能力を持っているかについて、意見を交換したり、書いて伝えたりすることができる。 ●人々を元気づける歌について、理解して考えを深めることができる。 ●難民キャンプにいる子どもたちのために自分ができることについて、意見を交換したり、書いて伝えたりすることができる。	○	○	○	16
	L1 “Priceless” Cafe, “Priceless” Community	関係代名詞（主格） / 付帯状況with	○	○	○	○	○	●「値段のないカフェ」について、理解して考えを深めることができる。 ●値段が設定されていないものを買うことの利点・欠点について、意見を交換したり、書いて伝えたりすることができる。	○	○	○	16
	L2 Nihonium —A New Element Born in Japan	関係副詞 / 現在完了進行形 / 強調構文						●ニホニウムが発見された経緯について、理解して考えを深めることができる。 ●試行錯誤を繰り返すことの利点について、意見を交換したり、書いて伝えたりすることができる				

[illegible]

高等学校		令和6年度（3学年用）		教科	外国語	科目	論理・表現Ⅲ						
教科：	外国語	科目：	論理・表現Ⅲ	単位数：	2	単位							
対象学年組：	第3学年	A組～	H組										
使用教科書：	（ ）												
教科	外国語	の目標：											
【知識及び技能】													
【思考力、判断力、表現力等】													
【学びに向かう力、人間性等】													
科目	論理・表現Ⅲ	の目標：											

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
〔知識〕 英語の特徴やきまりに関する事項及びその働きや役割を理解している。 〔技能〕 目的や場面、状況に応じて、自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して、詳しく話したり書いたりして伝え合うことができる技能を身に付けている。	目的や場面、状況に応じて、自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して、詳しく話したり書いたりして伝え合っている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手・読み手など他者に配慮しながら、主体的・自律的に表現しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 〔や〕	話 〔発〕	書					
1 学 期	Lesson 1 食糧問題についてディスカッションする	〔題材内容〕 日本の食品廃棄物についてのディスカッション 〔領域〕（◎主／○従） ◎話すこと（やり取り） ○書くこと 〔言語の働き〕 議論する，提案する 教材 「Vision Quest English Logic and Expression Ⅲ Workbok Hooe」 「Next Stage 英文法・語法問題 4th Edition」	○	○	○	○	○	〔知識〕 議論する，提案するときの表現の形・意味・用法を理解している。 〔技能〕 学んだ知識を用いて，議論する，提案するときの表現を適切に運用し，自分の考えや気持ちなどを詳しく伝え合う技能を身につけている。 場面や状況を理解し，ある話題について，適切な表現を用いて，議論したり，提案したりして，自分の考えや気持ちなどを，相手を説得することができるよう，詳しく伝え合っている。 自分の活動を振り返りながら，ある話題について，適切な表現を用いて，主体的に議論したり，提案したりして，自分の考えや気持ちなどを自分の言葉で詳しく伝え合おうとしている。	○	○	○	7
	Lesson 2 メールで近況を伝える	〔題材内容〕 留学時のホストマザーのビデオレターにメールで返事を書く 〔領域〕（◎主／○従） ◎話すこと ◎書くこと 〔言語の働き〕 個人的なことにて書く，気持ちを伝える 教材 「Vision Quest English Logic and Expression Ⅲ Workbok Hooe」 「Next Stage 英文法・語法問題 4th Edition」	○	○	○	○	○	〔知識〕 個人的なことにて書く，気持ちを伝えるときの表現の形・意味・用法を理解している。 〔技能〕 学んだ知識を用いて，個人的なことにて書く，気持ちを伝えるときの表現を適切に運用し，自分の近況について詳しく書いて伝える技能を身につけている。 相手の立場や状況を理解し，適切な表現を用いて，個人的なことにて書いて書いたり，気持ちを伝えたりして，自分の近況について相手に共感してもらうことができるよう，詳しく書いて伝えている。 自分の活動を振り返りながら適切な表現を用いて，主体的に個人的なことにて書いたり，気持ちを伝えたりして，自分の近況について相手に共感してもらうことができるよう，自分の言葉で詳しく書いて伝えようとしている。	○	○	○	7
	定期考査								○	○		1
	Lesson 3 学校新聞でアドバイスする	〔題材内容〕 自らの将来の夢を交えながら，後輩へのアドバイスを書く 〔領域〕（◎主／○従） ◎話すこと ◎書くこと 〔言語の働き〕 助言する，行動を促す 教材 「Vision Quest English Logic and Expression Ⅲ Workbok Hooe」 「Next Stage 英文法・語法問題 4th Edition」	○	○	○	○	○	〔知識〕 助言する，行動を促すときの表現の形・意味・用法を理解している。 〔技能〕 学んだ知識を用いて，助言する，行動を促すときの表現を適切に運用し，相手に対するアドバイスを詳しく書いて伝える技能を身につけている。 相手の立場や状況を理解し，適切な表現を用いて，助言したり，行動を促したりして，相手にアドバイスの有効性を納得してもらうことができるよう，詳しく書いて伝えている。 自分の活動を振り返りながら，適切な表現を用いて，主体的に助言したり，行動を促したりして，相手にアドバイスの有効性を納得してもらうことができるよう，自分の言葉で詳しく書いて伝えようとしている。	○	○	○	7
	Lesson 4 宇宙についてスピーチする	〔題材内容〕 火星移住プロジェクトについて反対意見を述べるスピーチ 〔領域〕（◎主／○従） ◎話すこと（発表） ○書くこと 〔言語の働き〕 主張する，仮定する 教材 「Vision Quest English Logic and Expression Ⅲ Workbok Hooe」 「Next Stage 英文法・語法問題 4th Edition」						〔知識〕 主張する，仮定するときの表現の形・意味・用法を理解している。 〔技能〕 学んだ知識を用いて，主張する，仮定するときの表現を適切に運用し，自分の考えや仮定・推測などを詳しく話して伝える技能を身につけている。 相手の知識や状況を理解し，適切な表現を用いて，主張したり，仮定したりして，自分の考えや仮定・推測などを詳しく話して伝えている。 自分の活動を振り返りながら，適切な表現				

[illegible]

		Workbok Hooe」 「Next Stage 英文法・語法問題 4th Edition」	○	○	○	○	○	いて伝えている。自分の活動を振り返りながら、適切な表現を用いて、主体的に分析したり、評論したりして、物事に対する自分なりの分析や評論について相手に同意してもらうことができるよう、自分の言葉で詳しく書いて伝えようとしている。	○	○	○	7
	定期考査								○	○		1
3 学 期	Lesson 10 学習環境についてディベートする	[題材内容] オンライン授業についてのディベート [領域] (◎主／○従) ◎話すこと (やり取り) ○書くこと [言語の働き] 立論する，反駁する，意見をまとめて再主張する 教材 「Vision Quest English Logic and Expression III Workbok Hooe」 「Next Stage 英文法・語法問題 4th Edition」	○	○	○	○	○	[知識] 立論する，反駁する，意見をまとめて再主張するときの表現の形・意味・用法を理解している。 [技能] 学んだ知識を用いて，立論する，反駁する，意見をまとめて再主張するときの表現を適切に運用し，ディベートにおいて自分の考えや主張などを詳しく伝え合う技能を身につけている。 相手側の主張や反駁を理解し，ある話題について，適切な表現を用いて，立論したり，反駁したり，意見をまとめて再主張したりして，ディベートにおいて建設的な議論ができるよう，詳しく伝え合っている。自分の活動を振り返りながら，ある話題について，適切な表現を用いて，主体的に立論したり，反駁したり，意見をまとめて再主張したりして，ディベートにおいて建設的な議論ができるよう，自分の考えや主張などを自分の言葉で詳しく伝え合おうとしている。	○	○	○	8
	定期考査								○	○		1
												合計
												70

都立桜町高等学校 令和6年度 年間授業計画

教科・科目(単位数)	外国語・中国語(2単位)
対象年次	2, 3年次
使用副教材	自主作成プリント

		指導内容 【年間授業計画】	具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
1 学 期	4 月	・中国語の概説　・行政区画、政治体制、少数民族、漢民族	・中国語と中国の概要(行政区画、政治体制、少数民族、漢民族)について理解する。	【評価の観点】 (1)知識及び技能 中国語の4技能（聞く、読む、話す、書く）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 中国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解する (2)思考力, 判断力, 表現力 簡単なあいさつ、語句、表現を使って、自分のことや身の回りのことなどについて質問したり答えたりするなどして表現している。 中国語の表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力 (3)学びに向かう力, 人間性 言語やその背景にある文化に対する関心を持って、主体的に中国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	4
		・発音記号（ピンイン）のきまり	・子音、母音、四声、軽声、r化、声調変化など中国語の発音を理解する ・声調の重要性について理解する。		
		・中国語での教室用語 ・名前の言い方	・自分の名前を中国語で正しく発音する。		
1 学 期	5 月	・人称代名詞	・人称代名詞を理解する。		10
		・動詞述語文	・動詞述語文の仕組みを理解する。		
		・“是”を使った文	・“是”の肯定文、否定文、疑問文のきまりを理解する。		
		・疑問の助詞	・“吗”を使った疑問文の用法を理解する。		
		定期考査Ⅰ			
1 学 期	6 月	・疑問詞疑問文	・疑問詞“哪”の用法を理解する。		6
		・副詞	・副詞“都”“也”の用法を理解する。		
		・曜日の表現	・名詞述語文、数詞、曜日に関する表現、疑問詞“几”のきまりを理解する。		
		・年月日の表現	・年月日の言い方を理解する。		
1 学 期	7 月	1学期の復習	・定期考査に向けて総復習を行う。		4
		定期考査Ⅱ	・会話、リスニング、筆記試験を実施する。		
2 学 期	9 月	・時間の表現	・時間の言い方を理解する。	【評価の方法】 (1)知識及び技能 定期テスト・小テスト・提出物・取組及び日ごろの授業での活動と共に、総括的に評価する。 (2)思考力, 判断力, 表現力 日ごろの授業での活動と共に、総括的に評価する。 (3)学びに向かう力, 人間性 定期テスト・小テスト・提出物及び日ごろの授業での活動を中心に評価する。	8
		・時点について	・動作を行う時点のきまりについて理解する。		
		・年齢の表現	・年齢、学年、干支の言い方を理解する。		
		・買い物の表現	・量詞、買い物の時に使う表現を理解する。		
2 学 期	1 0 月	・助動詞1	・助動詞“想”“要”の用法を理解する。		10
		・連動文	・連動文のきまりを理解する。		
		・動詞“有”1	・動詞“有”の所有の用法を理解する。		
		・助詞“的”	・“的”の用法を理解する。		

		指導内容 【年間授業計画】	具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
		定期考査Ⅲ		【評価の方法】 1) 小テスト 2) 「話してみよう中国語」のスキットの発表 3) 授業への取り組み 上記1) 2) 3) を総合的に評価する	
2 学期	1 1 月	・親族に関する表現	・親族に関する名称と家族構成の言い方を理解する。		8
		・動詞・前置詞“在”	・“在”の動詞・前置詞・副詞としての用法を理解する。		
		・動詞“有” 2	・動詞“有”の存在の用法を理解する。		
		・趣味の言い方	・趣味の言い方を理解する。		
2 学期	1 2 月	・2学期の復習	・1学期の内容も含めて復習を行う。		6
		・定期考査Ⅳ	・会話、筆記試験を実施する。		
3 学期	1 月	・助動詞2	・助動詞“会”の用法を理解する。		6
		・形容詞述語文	・形容詞述語文のきまりを理解する。		
		・助動詞3	・助動詞“能”の用法を理解する。		
		・助動詞4	・助動詞“可以”の用法を理解する。		
3 学期	2 月	・完了の表現	・完了・変化の助詞“了”の用法を理解する。	4	
		・経験の表現	・経験を表す“过”の用法を理解する。		
		・前置詞	・前置詞“跟”の用法を理解する。		
3 学期	3 月	・総復習	・1年間の復習を行う。	4	
		・定期考査Ⅴ	・会話、筆記試験を実施する。		
				計	70

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科				家庭	科目	保育基礎
教 科：	家庭	科 目：	保育基礎	単位数：	3	単位
対象学年組：	第 3 学年	組～	組			
使用教科書：	（ ）					
教科	家庭	の目標：				
【知 識 及 び 技 能】		保育に関する基礎的・基本的な技術を総合的に身につけている。子どもの発達特性，生活と保育に関する知識を総合的に身につけている。				
【思考力、判断力、表現力等】		子どもの発達や保育に関わる現状について理解を深めた上で課題を見つけ，その解決をめざして思考を深め，適切に判断し，工夫し創造する能力を身につけている。				
【学びに向かう力、人間性等】		子どもの発達や保育への関心を持ち，意欲的に学習に取り組み，子どもの健やかな発達や保育に寄与していこうとする実践的な態度を身につけている。				

科目	保育基礎	の目標：				
【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】		【学びに向かう力、人間性等】		
保育に関する基礎的・基本的な技術を総合的に身につけている。子どもの発達特性，生活と保育に関する知識を総合的に身につけている。		子どもの発達や保育に関わる現状について理解を深めた上で課題を見つけ，その解決をめざして思考を深め，適切に判断し，工夫し創造する能力を身につけている。		子どもの発達や保育への関心を持ち，意欲的に学習に取り組み，子どもの健やかな発達や保育に寄与していこうとする実践的な態度を身につけている。		

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	単元「子どもの保育」 【知識及び技能】 保育者に求められる役割や関り方のポイントを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 保育環境やその課題について、社会的背景などと関連づけて考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 子どもの保育について、自分の希望進路先の役割や環境を探究する。	①保育の意義 ②保育の方法 ・保育者の役割 ・一人ひとりに合わせた指導 ③保育の環境 ・家庭での保育 ・幼児教育・保育の場 ・子どもが育つ環境の変化と課題	【知識・技能】 保育者に求められる役割や関り方のポイントを理解している。 【思考・判断・表現】 保育環境やその課題について、社会的背景などと関連づけて考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 子どもの保育について、自分の希望進路先の役割や環境を探究しようとしている。	○	○	○	5
	単元「子どもの発達」 【知識及び技能】 子どもの心身の発達・発育について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 愛着関係形成のための大人の適切な関り方について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 子どもの発達・発育の特徴を踏まえて、適切な関り、声掛けをできるように主体的に情報を集める。	①子どもの発達特性 ・発達と保育 ・発達の共通性と個別性 ②子どもの体からだの発達 ・発育・発達の評価 ・身体的特徴 ・生理的特徴 ③子どもの心の発達 ・社会・情緒的な発達 ・知的発達 ・言葉の発達 月齢、年齢別の発育・発達	【知識・技能】 子どもの心身の発達・発育について理解している。 【思考・判断・表現】 愛着関係形成のための大人の適切な関り方について考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 子どもの発達・発育の特徴を踏まえて、適切な関り、声掛けをできるように主体的に情報を集め、学んでいる。	○	○	○	25
	実習「壁画制作」 【知識・技能】 担当する月の季節に合った壁画を完成させる。 【思考・判断・表現】 園児が楽しめる工夫を壁画制作の中で表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 園児（他生徒）に積極的に関わり、園児と楽しく壁画製作に取り組む。	・1人ひと月担当 ・園児が活躍する場面を設定（折り紙、切り紙、お絵かきなど） ・園児が楽しめる工夫	【知識・技能】 担当する月の季節に合った壁画を完成させている。 【思考・判断・表現】 園児が楽しめる工夫を壁画制作の中で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 園児（他生徒）に積極的に関わり、園児と楽しく壁画製作に取り組んでいる。	○	○	○	6
	実習「おもちゃ製作」 【知識・技能】 安全なおもちゃを製作する。 【思考・判断・表現】 年齢ごとの発達課題に合わせた楽しみ方の工夫をすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に実習に取り組む。	・安全で楽しいおもちゃ（大きさ、重さ、素材など） ・年齢に合わせた楽しみ方の工夫（発達課題）	【知識・技能】 安全なおもちゃを製作している。 【思考・判断・表現】 年齢ごとの発達課題に合わせた楽しみ方の工夫をしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に実習に取り組んでいる。	○	○	○	7
	単元「保育実習」 【知識及び技能】 子どもとの関わり方、服装、注意点など理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 子どもや保育園教諭の様子を見て、適切に関わる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に実習に取り組む。	子どもと関わってみよう（保育実習）	【知識・技能】 子どもとの関わり方、服装、注意点など理解している。 【思考・判断・表現】 子どもや保育園教諭の様子を見て、適切に関わっている。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に実習に取り組んでいる。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	単元「子どもの文化」 【知識及び技能】 児童文化活動、児童文化財、児童文化施設など子どもの文化を支える場やその意義について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 子どもの遊び実習に向けて、必要な準備や関わり方の工夫などについて考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 子どもの遊び実習について、一通りは実践することができる。	①子どもの文化の意義と支える場 ・子どもの文化 ・子どもの文化を支える場 ②子どもの遊びと表現活動 ・遊びと発達 ・遊びと表現活動	【知識・技能】 児童文化活動、児童文化財、児童文化施設など子どもの文化を支える場やその意義について理解している。 【思考・判断・表現】 子どもの遊び実習に向けて、必要な準備や関わり方の工夫などについて考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 子どもの遊び実習について、一通りは実践している。	○	○	○	10
	単元「子どもの生活」	①子どもの生活と養護	【知識・技能】				

2 学 期	【知識及び技能】 子どもの安全で健康的な食生活、衣生活に関する知識や技術を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 子どもが生活習慣を身につけるための援助の方法を考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 子どもの事故の実態や原因を踏まえて事故防止や安全教育に結び付けて考えることができる。	・生活と養護 ・栄養と食事 ・衣生活 ②生活習慣の形成 ・子どもの生活習慣 ・基本的生活習慣 ・社会的生活習慣 ③健康管理と事故防止 ・子どもの健康管理 ・事故防止と応急処置	子どもの安全で健康的な食生活、衣生活に関する知識や技術を身につけている。 【思考・判断・表現】 子どもが生活習慣を身につけるための援助の方法を考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 子どもの事故の実態や原因を踏まえて事故防止や安全教育に結び付けて考えている。	○	○	○	19
	実習「絵本製作」 【知識及び技能】 4ページの絵本を製作する。 【思考力、判断力、表現力等】 発達課題を踏まえて年齢に合った楽しみ方ができる工夫をしている。 【学びに向かう力、人間性等】 実習に主体的に取り組む。	・起承転結 ・年齢に合った楽しみ方の工夫（発達課題など） ・製本の仕方 ・読み聞かせ	【知識・技能】 4ページの絵本を製作している。 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 実習に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	10
	実習「劇」 【知識及び技能】 劇に必要な小道具を作ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 班員と協力して劇を行うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に劇づくりに取り組む。	・食育 ・パペット	【知識及び技能】 劇に必要な小道具を作っている。 【思考力、判断力、表現力等】 班員と協力して劇を行っている。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に劇づくりに取り組んでいる。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
3 学 期	単元「子どもの福祉」 【知識及び技能】 子どもの福祉を支える公的機関や施設の役割について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 子どもの福祉の課題を見つけることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 児童虐待の現状や課題について、自分の考えをまとめ、希望進路で活かそうとする。	①子ども観 ・子ども観の変遷 ・権利の主体としての子どもへ ②子どもの福祉 ・児童福祉 ・子どもをとりまく課題と対策 ・子どもが育つ社会環境 ③子育て支援 ・子育て支援からパートナーシップへ ・社会的養護 ・地域の子育て支援	【知識・技能】 子どもの福祉を支える公的機関や施設の役割について理解している。 【思考・判断・表現】 子どもの福祉の課題を見つけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 児童虐待の現状や課題について、自分の考えをまとめ、希望進路で活かそうとしている。	○	○	○	5
							合計
							105

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科

情報 科目 情報基礎

教科： 情報

科目： 情報基礎

単位数： 3 単位

対象学年組：第 3 学年 C 組～ F 組

使用教科書：（「基礎からはじめる情報リテラシー office2021対応」 実教出版 ）

教科 情報の目標：

- 【知識及び技能】 情報や情報技術を活用したコミュニケーションについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 情報や情報技術を活用したコミュニケーションに関する課題を発見し、情報社会における情報の発信者および受信者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 円滑かつ効果的なコミュニケーションを目指して自ら学び、情報社会の維持と発展に必要なコミュニケーション活動に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 情報基礎の目標： 情報実践に重点を置き、技術を利用して、様々な状況に応じた問題解決モデルを自ら構築できるような応用・実践力を養う。これらの目標を達成するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
情報や情報技術を活用したコミュニケーションについて体系的・系統的に理解している。また、関連する技術を身に付けている。	情報や情報技術を活用したコミュニケーションに関する課題を発見し、情報社会における情報の発信者および受信者として合理的かつ創造的に解決する力をもっている。	円滑かつ効果的なコミュニケーションを目指して自ら学び、情報社会の維持と発展に必要なコミュニケーション活動に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	オリエンテーション	・C A L L 教室の使い方を理解する。 ・授業の進め方、評価方法を理解する。 ・コンピュータの起動や終了の方法を理解する。	・コンピュータ教室のルールを理解している。 ・コンピュータを起動し、目的とするアプリケーションを開くことができ、正しい手順で終了することができる。	○			1
	単元 「文章作成の基礎」 【知識及び技能】 ・文書の基本的な構成を理解する。 ・わかりやすい文書の作成技法を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章作成ソフトを活用して状況に応じて適切な文章を作成できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・文章作成ソフトを活用して主体的にわかりやすい文章を作成する態度を育む。	・指導事項 文書作成方法の解説、成果物の完成指導、 キーボード入力の方法 ・教材 教 科書、授業ノートプリント ・一人1台端末の活用 等 C A L L 教室でのネットワーク接続の端末利用	【知識及び技能】 ・文書の基本的な構成を理解している。 ・わかりやすい文書の作成技法を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章作成ソフトを用いて状況に応じて適切な文章を作成できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・文章作成ソフトを活用して主体的にわかりやすい文章を作成しようとしている。	○	○	○	9
	単元 「図解表現の基礎」 【知識及び技能】 図解の意義、種類、特性を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 図解の種類、特性からデータに応じて適切に活用してデータなどを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 図解を適切に用いてわかりやすく説明しようとする態度を養う。	・指導事項 図解表現の解説、成果物の完成指導 ・教材 教 科書、授業ノートプリント ・一人1台端末の活用 等 C A L L 教室でのネットワーク接続の端末利用	【知識及び技能】 図解の意義、種類、特性を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 図解の種類、特性からデータに応じて適切に活用してデータなどを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 図解を適切に用いてわかりやすく説明しようとしている。	○	○	○	10
	単元 「表・グラフの作成」 【知識及び技能】 ・表計算ソフトを用いて表やグラフを作成する方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・データなどをその特性を理解して適切な表やグラフを作成して伝わりやすく表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・データなどを表現するときに表計算ソフトを用いて若い安く伝えようとする態度を養う。	・指導事項 表・グラフ作成の解説、成果物の完成指導、 ・教材 教 科書、授業ノートプリント ・一人1台端末の活用 等 C A L L 教室でのネットワーク接続の端末利用	【知識及び技能】 ・表計算ソフトを用いて表やグラフを作成する方法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・データなどをその特性を理解して適切な表やグラフを作成して伝わりやすく表現できている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・データなどを表現するときに表計算ソフトを用いて若い安く伝えようとしている。	○	○	○	10
	単元 「画像・映像表現の基礎」 【知識及び技能】 ・デジタル画像の意義と特性を理解する。 ・映像・音声・動画ファイルの種類と特性を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・グラフィックスソフトを利用し、データの修正、加工を行い画像を表現することができる。 ・各メディアを統合し資料を作成することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・映像・音声・音声ファイルを組み合わせで伝わりやすい作品を作成する態度を養う。	・指導事項 画像・映像表現の解説、成果物の完成指導 ・教材 教 科書、授業ノートプリント ・一人1台端末の活用 等 C A L L 教室でのネットワーク接続の端末利用	【知識及び技能】 ・デジタル画像の意義と特性を理解している。 ・映像・音声・動画ファイルの種類と特性を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・グラフィックスソフトを利用し、データの修正、加工を行い画像を表現することができる。 ・各メディアを統合し資料を作成することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・映像・音声・音声ファイルを組み合わせで伝わりやすい作品を作成しようとしている。	○	○	○	11
2 学期	実技試験			○	○		1
	単元 「プレゼンテーションの意義と重要性」 【知識及び技能】 ・プレゼンテーションの意味を理解する。 ・プレゼンテーションの3つの段階（伝達・理解促進・定着・説得、応用・実行）を理解する。 ・全体の流れ（内容の決定、発表準備、リハーサル、本番、フィードバック）を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・発表する場面にに応じて配布資料、視聴覚資料の改善を行うことができる。 ・話し方、態度、発問や応答、服装、会場確認を考え、効果的なプレゼンテーションを行うことができる。 ・コンピュータやiPadなど、プレゼンテーションツールを状況に応じて選ぶことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・プレゼンテーションソフトを活用してより伝わりやすいプレゼンテーションを行う態度を育む。	・指導事項 プレゼンテーションの解説、成果物の完成指導 ・教材 教 科書、授業ノートプリント ・一人1台端末の活用 等 C A L L 教室でのネットワーク接続の端末利用	【知識及び技能】 ・プレゼンテーションの意味を理解している。 ・プレゼンテーションの3つの段階（伝達・理解促進・定着・説得、応用・実行）を理解している。 ・全体の流れ（内容の決定、発表準備、リハーサル、本番、フィードバック）を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・発表する場面にに応じて配布資料、視聴覚資料の改善を行うことができる。 ・話し方、態度、発問や応答、服装、会場確認を考え、効果的なプレゼンテーションを行うことができる。 ・コンピュータやiPadなど、プレゼンテーションツールを状況に応じて選ぶことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・プレゼンテーションソフトを活用してより伝わりやすいプレゼンテーション行おうとしている。	○	○	○	20
				○	○	○	20
	実技試験			○	○		1
	単元 「アルゴリズムとプログラミング」 【知識及び技能】 ・アルゴリズムを用いてプログラムを表現する方法を理解する。 ・プログラミング言語の種類とその特徴について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・関数を使用したプログラムを作成できる。	・指導事項 問題解決とその手法の解説、成果物の完成指導 ・教材 教 科書、授業ノートプリント ・一人1台端末の活用 等 C A L L 教室でのネットワーク接続の端末利用	【知識及び技能】 ・アルゴリズムを用いてプログラムを表現する方法を理解している。 ・プログラミング言語の種類とその特徴について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・関数を使用したプログラムを作成することができる。	○	○	○	11

3 学 期	・多くのデータから目的のデータを探し出すプログラムを作成できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・問題解決にアルゴリズムやプログラミングを有効に利用する態度を育む。		・多くのデータから目的のデータを探し出すプログラムを作成することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・問題解決にアルゴリズムやプログラミングを有効に利用しようとしている。	○	○	○	○
	実技試験			○	○		1
	単元「ネットワークの活用」 【知識及び技能】 ・ネットワークや情報セキュリティの基本的な知識・技術を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ネットワークに関する課題を発見し、有効な手立てを提案し解決することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・情報社会の安全で持続的な発展のために主体的かつ協働的に取り組む姿勢を育む。	・指導事項 ネットワークとその活用方法の解説、成果物の完成指導 ・教材 科書、授業ノートプリント ・一人1台端末の活用 等 C A L L 教室でのネットワーク接続の端末利用	【知識及び技能】 ・ネットワークや情報セキュリティの基本的な知識・技術を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ネットワークに関する課題を発見し、有効な手立てを提案し解決することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・情報社会の安全で持続的な発展のために主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
							合計
							105